

---

## II-5 子育て関係施設従事者の調査結果

---

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

区内の子育て関係施設の従事者に対してアンケートを行うことにより、子育てに関する相談方法や情報入手方法に関する実態、家庭・保護者との連携状況等を把握し、「練馬区子ども・子育て支援事業計画」を策定するうえでの基礎資料とします。

#### (2) 調査内容

- ①調査対象者の状況について
- ②子育て支援に関する悩み、不安等について
- ③子育てに関する情報、相談の状況について
- ④子育て支援に関する連携、協力、虐待の状況について

#### (3) 調査仕様

- ①調査地域 区全域
- ②調査対象 区内の子育て関係施設の従事者
- ③標本数 613 件
- ④抽出方法 施設の種類別に従事者数などを勘案し、54 施設抽出
- ⑤調査方法 対象施設を通じた手渡し・回収
- ⑥調査期間 平成 25 年 10 月 18 日～11 月 1 日

#### (4) 回収数・回収率

587 件 有効回答率=95.8%

## (5) 本報告書における調査結果の見方

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています（無回答および有効回答数が10未満を除く）。

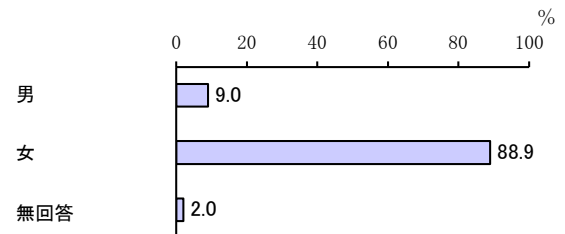
## 2. 調査結果

### (1) 調査対象者の状況について

F 1 はじめにあなたご本人のことについておうかがいします。(それぞれ○は1つ)

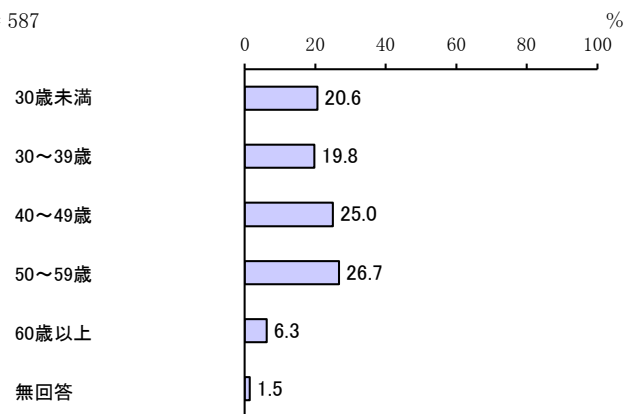
#### ①性別

「女」の割合が 88.9%、「男」の割合が 9.0%となっています。 N = 587



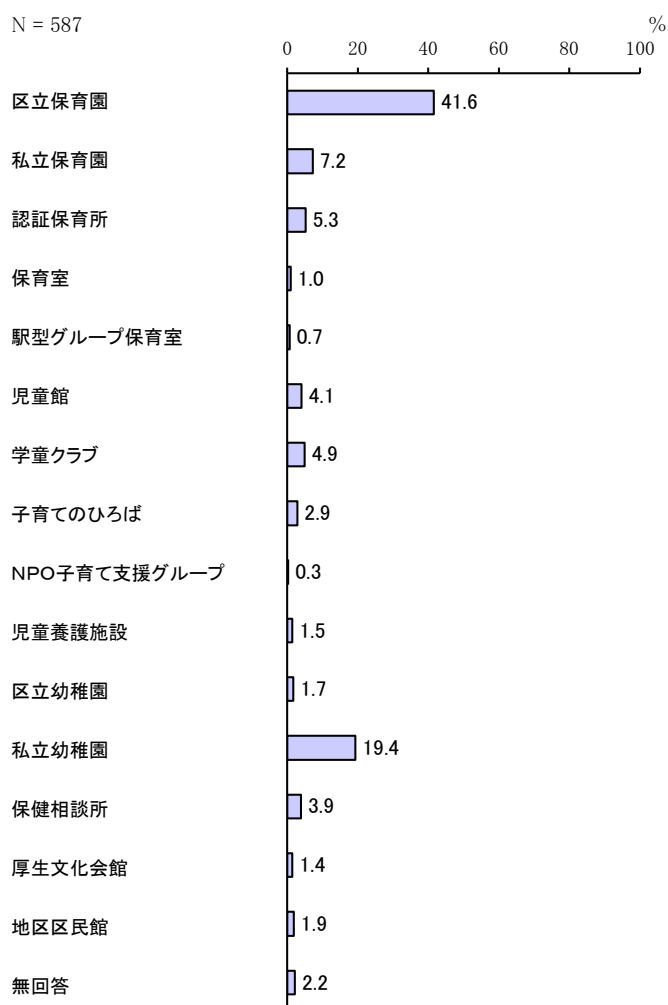
#### ②年齢

「50～59 歳」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「40～49 歳」の割合が 25.0%、「30 歳未満」の割合が 20.6%となっています。 N = 587



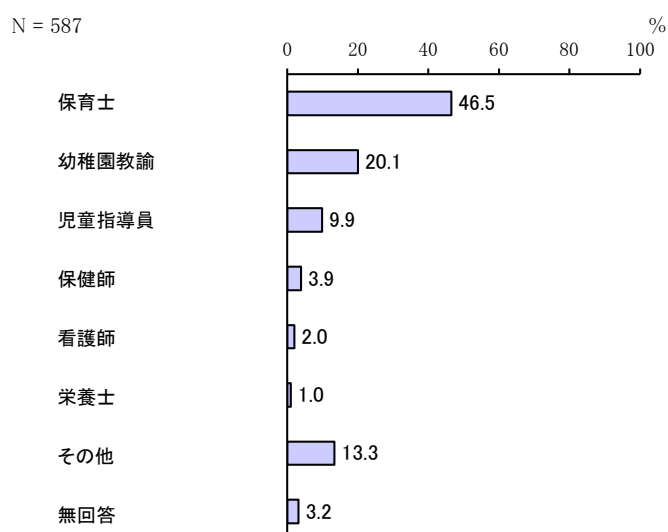
### ③施設の種類

「区立保育園」の割合が41.6%と最も高く、次いで「私立幼稚園」の割合が19.4%となっています。



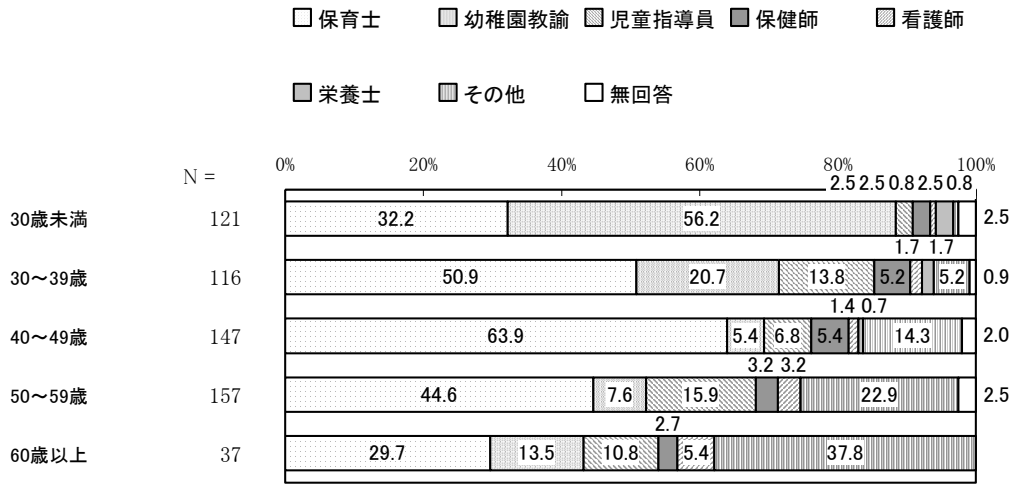
### ④職種

「保育士」の割合が46.5%と最も高く、次いで「幼稚園教諭」の割合が20.1%となっています。



⑤年齢別職種

30歳未満で、「幼稚園教諭」の割合が約6割と高くなっています。また、30～39歳、40～49歳、50～59歳で、「保育士」の割合が4～6割と高くなっています。



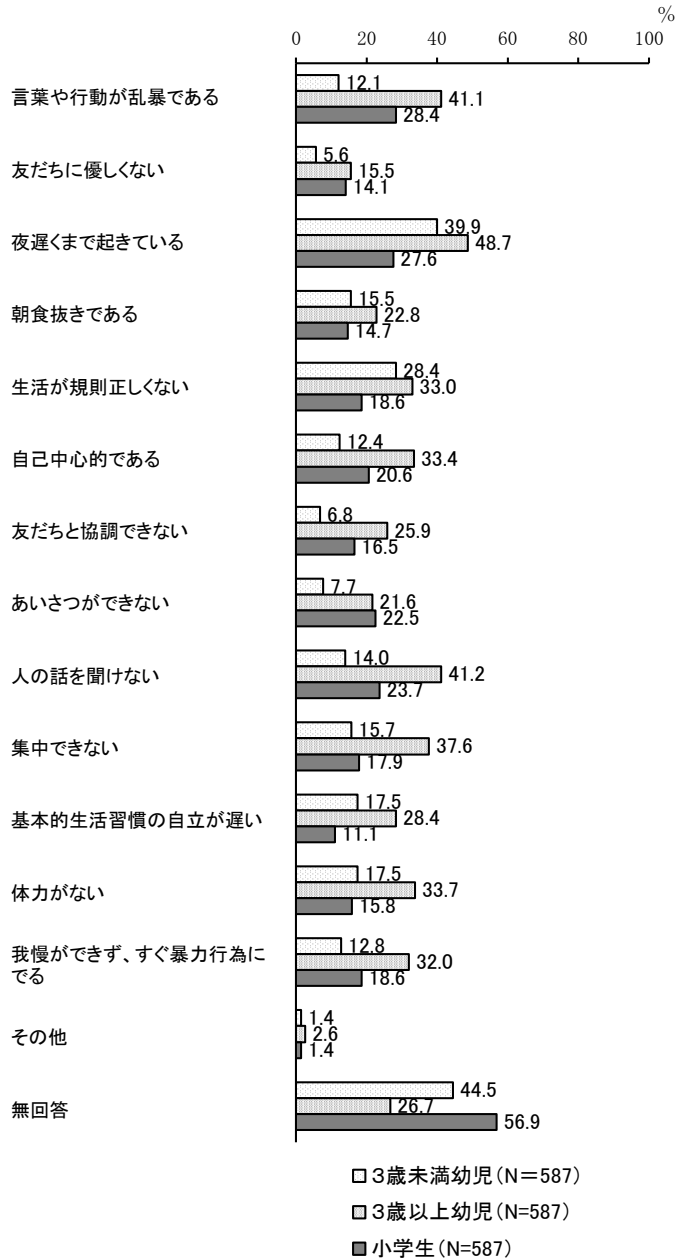
## (2) 子育て支援に関する悩み、不安等について

問1 あなたが関わっている子どもに対して、「近頃こんな子どもが増えている」と悩んでいることはありますか。(1) 3歳未満幼児、(2) 3歳以上幼児、(3) 小学生、それぞれについてご記入ください。((1)～(3)とも、それぞれ〇はいくつでも)

3歳未満幼児では、「夜遅くまで起きている」の割合が39.9%と最も高く、次いで「生活が規則正しくない」の割合が28.4%、「基本的な生活習慣の自立が遅い」「体力がない」の割合がそれぞれ17.5%となっています。

3歳以上幼児では、「夜遅くまで起きている」の割合が48.7%と最も高く、次いで「人の話を聞けない」の割合が41.2%、「言葉や行動が乱暴である」の割合が41.1%となっています。

小学生では、「言葉や行動が乱暴である」の割合が28.4%と最も高く、次いで「夜遅くまで起きている」の割合が27.6%、「人の話を聞けない」の割合が23.7%となっています。



[職業別 3歳未満幼児の悩み]

職業別でみると、保育士、保健師、看護師で「夜遅くまで起きている」「生活が規則正しくない」の割合が、他の職業に比べて高くなっています。

また、幼稚園教諭で「基本的生活習慣の自立が遅い」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	言葉や行動が乱暴である	友だちに優しくない	夜遅くまで起きている	朝食抜きである	生活が規則正しくない	自己中心的である	友だちと協調できない	あいさつができない
保育士	273	20.1	8.1	61.9	23.8	40.7	17.9	7.3	7.3
幼稚園教諭	118	4.2	3.4	11.0	1.7	10.2	9.3	8.5	11.9
児童指導員	58	3.4	3.4	8.6	3.4	5.2	3.4	8.6	6.9
保健師	23	4.3	-	78.3	13.0	56.5	4.3	4.3	-
看護師	12	16.7	8.3	58.3	16.7	50.0	25.0	16.7	-
栄養士	6	-	-	33.3	16.7	16.7	-	-	-
その他	78	5.1	3.8	21.8	17.9	21.8	7.7	1.3	6.4

	人の話を聞けない	集中できない	基本的生活習慣の自立が遅い	体力がない	我慢ができず、すぐ暴力行為にでる	その他	無回答
保育士	19.0	22.3	19.4	26.0	18.3	2.6	26.0
幼稚園教諭	15.3	13.6	23.7	14.4	10.2	0.8	66.9
児童指導員	5.2	3.4	3.4	1.7	3.4	-	79.3
保健師	-	13.0	43.5	4.3	4.3	-	4.3
看護師	8.3	16.7	16.7	33.3	8.3	-	25.0
栄養士	-	-	-	-	-	-	66.7
その他	7.7	9.0	9.0	9.0	9.0	-	53.8

[施設別 3歳未満幼児の悩み]

施設別でみると、区立保育園、私立保育園、認証保育所、学童クラブ、区立幼稚園、保健相談所で「夜遅くまで起きている」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	言葉や行動が乱暴である	友だちに優しくない	夜遅くまで起きている	朝食抜きである	生活が規則正しくない	自己中心的である	友だちと協調できない	あいさつができない	人の話を聞けない	集中できない	基本的な生活習慣の自立が遅い	体力がない	我慢ができず、すぐ暴力行為にでる	その他	無回答
区立保育園	244	19.3	8.6	62.3	27.9	46.7	15.6	6.6	8.2	18.0	20.5	16.8	25.4	16.8	2.5	26.6
私立保育園	42	16.7	2.4	45.2	9.5	4.8	23.8	7.1	14.3	11.9	21.4	23.8	21.4	14.3	-	35.7
認証保育所	31	12.9	-	48.4	22.6	29.0	12.9	3.2	3.2	16.1	16.1	9.7	25.8	12.9	-	29.0
保育室	6	16.7	-	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	33.3	50.0	16.7	-	33.3	-	33.3
駅型グループ保育室	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0
児童館	24	4.2	-	-	-	4.2	4.2	4.2	-	-	-	4.2	4.2	-	-	87.5
学童クラブ	29	-	-	10.3	3.4	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	86.2
子育てのひろば	17	23.5	17.6	52.9	11.8	64.7	5.9	5.9	5.9	29.4	17.6	41.2	23.5	41.2	-	5.9
NPO子育て支援グループ	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	50.0
児童養護施設	9	-	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	77.8
区立幼稚園	10	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	-	80.0
私立幼稚園	114	1.8	2.6	8.8	0.9	7.9	9.6	7.9	10.5	13.2	11.4	21.9	12.3	7.0	0.9	68.4
保健相談所	23	4.3	-	78.3	13.0	56.5	4.3	4.3	-	-	13.0	43.5	4.3	4.3	-	4.3
厚生文化会館	8	-	-	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-	-	12.5	-	12.5	12.5	-	50.0
地区区民館	11	9.1	9.1	-	-	-	-	18.2	9.1	-	-	-	-	-	-	81.8



[職業別 3歳以上幼児の悩み]

職業別でみると、保育士、幼稚園教諭、看護師で「夜遅くまで起きている」の割合が5～8割と、他の職業に比べて高くなっています。また、「人の話を聞けない」「集中できない」の割合も、他の職業に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	言葉や行動が乱暴である	友だちに優しくない	夜遅くまで起きている	朝食抜きである	生活が規則正しくない	自己中心的である	友だちと協調できない	あいさつができない
保育士	273	53.1	22.0	62.6	30.0	43.6	42.9	34.4	24.9
幼稚園教諭	118	44.1	11.9	50.0	19.5	23.7	40.7	25.4	27.1
児童指導員	58	12.1	3.4	12.1	3.4	8.6	6.9	6.9	8.6
保健師	23	4.3	-	43.5	13.0	34.8	-	17.4	-
看護師	12	58.3	25.0	83.3	50.0	66.7	50.0	41.7	33.3
栄養士	6	16.7	-	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
その他	78	32.1	14.1	30.8	20.5	29.5	23.1	12.8	19.2

	人の話を聞けない	集中できない	基本的な生活習慣の自立が遅い	体力がない	我慢ができず、すぐ暴力行為にでる	その他	無回答
保育士	52.4	41.8	30.0	39.9	45.1	2.9	20.5
幼稚園教諭	45.8	47.5	41.5	45.8	32.2	3.4	6.8
児童指導員	8.6	10.3	10.3	3.4	5.2	-	69.0
保健師	8.7	17.4	26.1	-	4.3	4.3	34.8
看護師	66.7	75.0	41.7	66.7	50.0	8.3	8.3
栄養士	50.0	50.0	-	16.7	16.7	-	33.3
その他	30.8	29.5	21.8	24.4	17.9	-	39.7

[施設別 3歳以上幼児の悩み]

施設別でみると、すべての施設で「夜遅くまで起きている」の割合が高くなっています。

また、区立保育園、私立保育園、区立幼稚園で「言葉や行動が乱暴である」の割合が高く、区立保育園、区立幼稚園で「人の話を聞けない」「集中できない」の割合が、5割以上と他の施設に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	言葉や行動が乱暴である	友だちに優しくない	夜遅くまで起きている	朝食抜きである	生活が規則正しくない	自己中心である	友だちと協調できない	あいさつができない	人の話を聞けない	集中できない	基本的な生活習慣の自立が遅い	体力がない	我慢ができません、すぐ暴力行為にでる	その他	無回答
区立保育園	244	56.1	23.8	66.4	37.7	52.0	47.5	37.7	27.9	60.7	52.0	30.7	44.7	48.4	3.3	15.6
私立保育園	42	57.1	11.9	57.1	16.7	33.3	26.2	16.7	28.6	42.9	26.2	31.0	38.1	33.3	-	14.3
認証保育所	31	12.9	6.5	12.9	6.5	6.5	3.2	3.2	3.2	12.9	3.2	6.5	9.7	6.5	-	71.0
保育室	6	33.3	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	-	-	33.3
駅型グループ保育室	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
児童館	24	8.3	-	8.3	-	4.2	-	4.2	4.2	-	4.2	8.3	4.2	-	-	75.0
学童クラブ	29	-	-	10.3	3.4	3.4	10.3	6.9	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	79.3
子育てのひろば	17	29.4	11.8	47.1	5.9	23.5	35.3	23.5	11.8	11.8	35.3	41.2	29.4	41.2	-	23.5
NPO子育て支援グループ	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
児童養護施設	9	44.4	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	33.3	33.3	44.4	22.2	11.1	-	44.4
区立幼稚園	10	90.0	10.0	40.0	20.0	40.0	50.0	40.0	40.0	80.0	50.0	80.0	40.0	80.0	-	-
私立幼稚園	114	41.2	14.0	49.1	20.2	21.9	43.0	26.3	25.4	43.0	47.4	39.5	47.4	28.1	4.4	6.1
保健相談所	23	4.3	-	43.5	13.0	34.8	-	17.4	-	8.7	17.4	26.1	-	4.3	4.3	34.8
厚生文化会館	8	37.5	-	37.5	12.5	25.0	-	-	12.5	37.5	37.5	25.0	-	25.0	-	37.5
地区区民館	11	18.2	18.2	9.1	-	9.1	9.1	18.2	9.1	-	-	-	-	9.1	-	72.7

[職業別 小学生の悩み]

職業別でみると、児童指導員で「言葉や行動が乱暴である」の割合が、8割以上と他の職業に比べて高くなっています。また、「あいさつができない」「人の話を聞けない」の割合が、7割以上と他の職業に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	言葉や行動が乱暴である	友だちに優しくない	夜遅くまで起きている	朝食抜きである	生活が規則正しくない	自己中心的である	友だちと協調できない	あいさつができない
保育士	273	24.9	10.3	28.2	13.9	17.2	16.5	14.7	17.6
幼稚園教諭	118	17.8	5.9	21.2	8.5	7.6	9.3	2.5	12.7
児童指導員	58	81.0	60.3	51.7	31.0	39.7	69.0	60.3	72.4
保健師	23	4.3	-	26.1	13.0	26.1	-	4.3	8.7
看護師	12	16.7	25.0	33.3	16.7	25.0	16.7	25.0	16.7
栄養士	6	33.3	-	16.7	16.7	33.3	-	16.7	16.7
その他	78	29.5	10.3	20.5	14.1	20.5	25.6	15.4	21.8

	人の話を聞けない	集中できない	基本的な生活習慣の自立が遅い	体力がない	我慢ができず、すぐ暴力行為にでる	その他	無回答
保育士	18.7	13.9	8.4	16.8	15.8	1.1	61.5
幼稚園教諭	12.7	8.5	1.7	9.3	5.1	0.8	66.1
児童指導員	74.1	60.3	34.5	24.1	67.2	6.9	3.4
保健師	8.7	8.7	4.3	17.4	-	-	69.6
看護師	25.0	16.7	16.7	25.0	25.0	-	66.7
栄養士	16.7	-	-	16.7	-	-	50.0
その他	24.4	19.2	17.9	16.7	19.2	-	57.7

[施設別 小学生の悩み]

施設別でみると、区立保育園、私立保育園、子育てのひろば、区立幼稚園、私立幼稚園、保健相談所で「夜遅くまで起きている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、学童クラブで「あいさつができない」の割合が、約8割と他の施設に比べて高くなっています。

単位：%

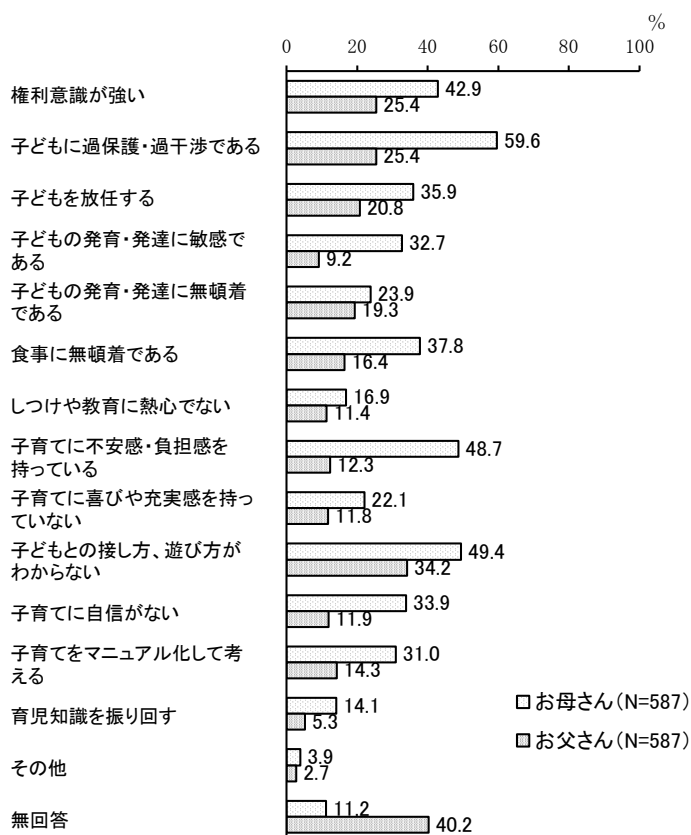
	有効回答数(件)	言葉や行動が乱暴である	友だちに優しくない	夜遅くまで起きている	朝食抜きである	生活が規則正しくない	自己中心的である	友だちと協調できない	あいさつができない	人の話を聞けない	集中できない	基本的な生活習慣の自立が遅い	体力がない	我慢ができません、すぐ暴力行為にでる	その他	無回答
区立保育園	244	25.4	11.5	27.9	14.8	20.9	16.4	14.3	18.4	20.9	14.3	10.2	17.6	16.0	0.8	62.3
私立保育園	42	16.7	4.8	23.8	11.9	11.9	7.1	11.9	14.3	7.1	7.1	4.8	11.9	14.3	-	64.3
認証保育所	31	6.5	-	6.5	-	3.2	-	3.2	-	-	-	-	9.7	-	-	87.1
保育室	6	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	33.3	-	-	-	-	-	66.7
駅型グループ保育室	4	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	75.0
児童館	24	91.7	66.7	58.3	33.3	45.8	62.5	66.7	66.7	75.0	54.2	45.8	16.7	66.7	4.2	4.2
学童クラブ	29	69.0	48.3	51.7	41.4	37.9	72.4	55.2	79.3	75.9	65.5	27.6	31.0	65.5	13.8	-
子育てのひろば	17	35.3	23.5	47.1	23.5	23.5	41.2	23.5	23.5	17.6	35.3	11.8	29.4	29.4	-	41.2
NPO子育て支援グループ	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
児童養護施設	9	55.6	11.1	44.4	11.1	11.1	55.6	44.4	44.4	44.4	55.6	11.1	33.3	33.3	-	11.1
区立幼稚園	10	30.0	20.0	30.0	10.0	20.0	10.0	-	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	60.0
私立幼稚園	114	17.5	3.5	19.3	9.6	6.1	9.6	0.9	11.4	12.3	8.8	2.6	8.8	4.4	0.9	66.7
保健相談所	23	4.3	-	26.1	13.0	26.1	-	4.3	8.7	8.7	8.7	4.3	17.4	-	-	69.6
厚生文化会館	8	87.5	62.5	62.5	37.5	62.5	75.0	50.0	75.0	75.0	62.5	37.5	37.5	75.0	-	12.5
地区区民館	11	81.8	45.5	18.2	-	18.2	63.6	63.6	72.7	81.8	36.4	63.6	27.3	54.5	-	9.1

問2 あなたが関わっている子どもの保護者（お母さん、お父さん）に対して、「近頃こんなお母さん、お父さんが増えている」と悩んでいることはありますか。

（1）お母さん、（2）お父さん、それぞれについてご記入ください。（（1）、（2）とも、それぞれ〇はいくつでも）

お母さんでは、「子どもに過保護・過干渉である」の割合が59.6%と最も高く、次いで「子どもとの接し方、遊び方がわからない」の割合が49.4%、「子育てに不安感・負担感を持っている」の割合が48.7%となっています。

お父さんでは、「子どもとの接し方、遊び方がわからない」の割合が34.2%と最も高く、次いで「権利意識が強い」「子どもに過保護・過干渉である」の割合がそれぞれ25.4%となっています。



[職業別 保護者に対する悩み]

(1) お母さん

職業別でみると、幼稚園教諭、看護師で「子どもに過保護・過干渉である」の割合が、保健師、看護師で「子どもとの接し方、遊び方がわからない」の割合が高くなっています。また、看護師で「権利意識が強い」の割合が、保健師で「子育てに不安感・負担感を持っている」の割合が、7割以上と他の職業に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	権利意識が強い	子どもに過保護・過干渉である	子どもを放任する	子どもの発育・発達に敏感である	子どもの発育・発達に無頓着である	食事に無頓着である	しつけや教育に熱心でない	子育てに不安感・負担感を持っている
保育士	273	51.6	57.9	35.5	33.7	28.6	46.5	15.4	57.9
幼稚園教諭	118	16.9	78.8	26.3	33.1	18.6	26.3	18.6	34.7
児童指導員	58	62.1	56.9	41.4	29.3	15.5	24.1	17.2	39.7
保健師	23	39.1	39.1	30.4	69.6	39.1	39.1	4.3	73.9
看護師	12	75.0	75.0	66.7	25.0	50.0	58.3	8.3	58.3
栄養士	6	-	16.7	33.3	16.7	-	33.3	33.3	66.7
その他	78	38.5	46.2	42.3	24.4	17.9	33.3	21.8	38.5

	子育てに喜びや充実感を持っていない	子どもとの接し方、遊び方がわからない	子育てに自信がない	子育てをマニュアル化して考える	育児知識を振り回す	その他	無回答
保育士	30.4	61.2	41.8	40.3	19.4	5.1	6.2
幼稚園教諭	10.2	36.4	21.2	15.3	9.3	2.5	9.3
児童指導員	15.5	31.0	24.1	19.0	12.1	5.2	12.1
保健師	26.1	73.9	56.5	47.8	8.7	8.7	4.3
看護師	25.0	75.0	58.3	41.7	8.3	-	8.3
栄養士	33.3	66.7	50.0	33.3	-	-	16.7
その他	15.4	30.8	23.1	26.9	9.0	1.3	30.8

(2) お父さん

職業別でみると、看護師で「権利意識が強い」の割合が、約6割と他の職業に比べて高くなっています。

単位：%

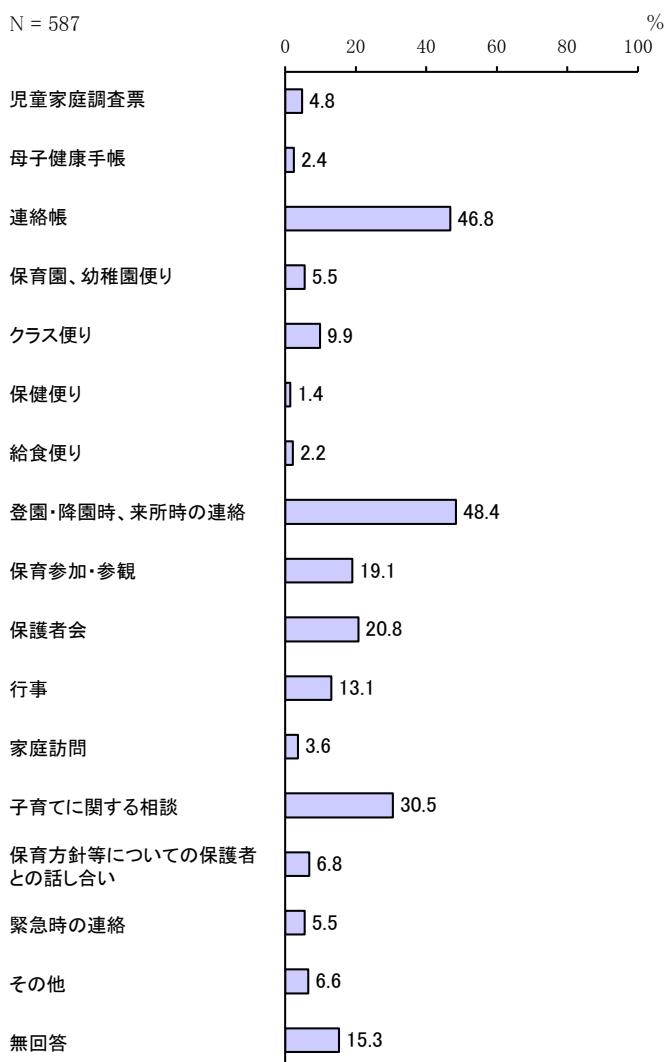
	有効回答数(件)	権利意識が強い	子どもに過保護・過干渉である	子どもを放任する	子どもの発育・発達に敏感である	子どもの発育・発達に無頓着である	食事に無頓着である	しつけや教育に熱心でない	子育てに不安感・負担感を持っている
保育士	273	31.1	29.3	23.1	9.2	24.5	21.2	13.6	17.9
幼稚園教諭	118	16.9	31.4	15.3	9.3	12.7	7.6	8.5	4.2
児童指導員	58	27.6	17.2	20.7	6.9	15.5	10.3	13.8	8.6
保健師	23	8.7	-	8.7	8.7	17.4	8.7	4.3	4.3
看護師	12	58.3	41.7	25.0	8.3	25.0	16.7	-	25.0
栄養士	6	16.7	33.3	-	16.7	-	16.7	16.7	-
その他	78	17.9	16.7	24.4	10.3	14.1	19.2	10.3	10.3

	子育てに喜びや充実感を持っている	子どもとの接し方、遊び方がわからない	子育てに自信がない	子育てをマニュアル化して考える	育児知識を振り回す	その他	無回答
保育士	17.9	45.4	17.9	17.2	6.6	4.4	32.6
幼稚園教諭	1.7	20.3	3.4	11.0	5.1	-	46.6
児童指導員	10.3	31.0	10.3	8.6	5.2	5.2	41.4
保健師	-	21.7	-	8.7	-	-	47.8
看護師	16.7	50.0	25.0	16.7	8.3	-	25.0
栄養士	-	16.7	16.7	16.7	-	-	50.0
その他	10.3	24.4	6.4	16.7	3.8	1.3	55.1

問3 あなたは、家庭・保護者との連携に関して、どのようなことを重視していますか。  
 (〇は主に重視しているもの3つ)

「登園・降園時、来所時の連絡」の割合が48.4%と最も高く、次いで「連絡帳」の割合が46.8%、「子育てに関する相談」の割合が30.5%となっています。

N = 587





[年齢別 保護者との連携方法]

年齢別で見ると、30歳未満、30～39歳で「登園・降園時、来所時の連絡」の割合が最も高く、40～49歳、50～59歳、60歳以上で「連絡帳」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	児童家庭調査票	母子健康手帳	連絡帳	保育園、幼稚園便り	クラス便り	保健便り	給食便り	登園・降園時、来所時の連絡	保育参加・参観
30歳未満	121	6.6	3.3	39.7	9.1	14.0	-	1.7	67.8	19.0
30～39歳	116	1.7	1.7	49.1	6.9	10.3	-	0.9	56.9	20.7
40～49歳	147	5.4	2.7	57.1	2.0	10.9	0.7	2.0	41.5	24.5
50～59歳	157	1.9	1.9	43.9	3.8	6.4	3.2	3.8	40.1	15.9
60歳以上	37	16.2	2.7	35.1	10.8	5.4	5.4	2.7	27.0	5.4

	保護者会	行事	家庭訪問	子育てに関する相談	保育方針等についての保護者との話し合い	緊急時の連絡	その他	無回答
30歳未満	24.0	20.7	2.5	23.1	8.3	8.3	2.5	9.9
30～39歳	15.5	8.6	4.3	35.3	4.3	6.0	6.9	13.8
40～49歳	21.1	10.2	4.1	32.7	7.5	2.7	6.1	15.6
50～59歳	22.3	14.6	3.2	31.8	7.0	5.1	10.2	17.8
60歳以上	24.3	10.8	5.4	27.0	5.4	5.4	8.1	18.9

[職業別 保護者との連携方法]

職業別でみると、保育士で「連絡帳」の割合が高く、幼稚園教諭で「登園・降園時、来所時の連絡」の割合が、他の職業に比べ高くなっています。また保健師で「子育てに関する相談」の割合が、9割以上と他の職業と比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	児童家庭調査票	母子健康手帳	連絡帳	保育園、幼稚園便り	クラス便り	保健便り	給食便り	登園・降園時、来所時の連絡	保育参加・参観
保育士	273	3.3	1.1	68.9	4.4	13.2	0.4	0.4	56.4	26.0
幼稚園教諭	118	9.3	-	22.9	10.2	12.7	-	-	68.6	23.7
児童指導員	58	3.4	-	50.0	-	5.2	-	-	27.6	1.7
保健師	23	-	30.4	4.3	-	-	-	-	-	-
看護師	12	8.3	8.3	33.3	-	-	50.0	8.3	58.3	16.7
栄養士	6	-	16.7	33.3	16.7	-	-	16.7	33.3	50.0
その他	78	5.1	2.6	20.5	6.4	2.6	1.3	12.8	23.1	6.4

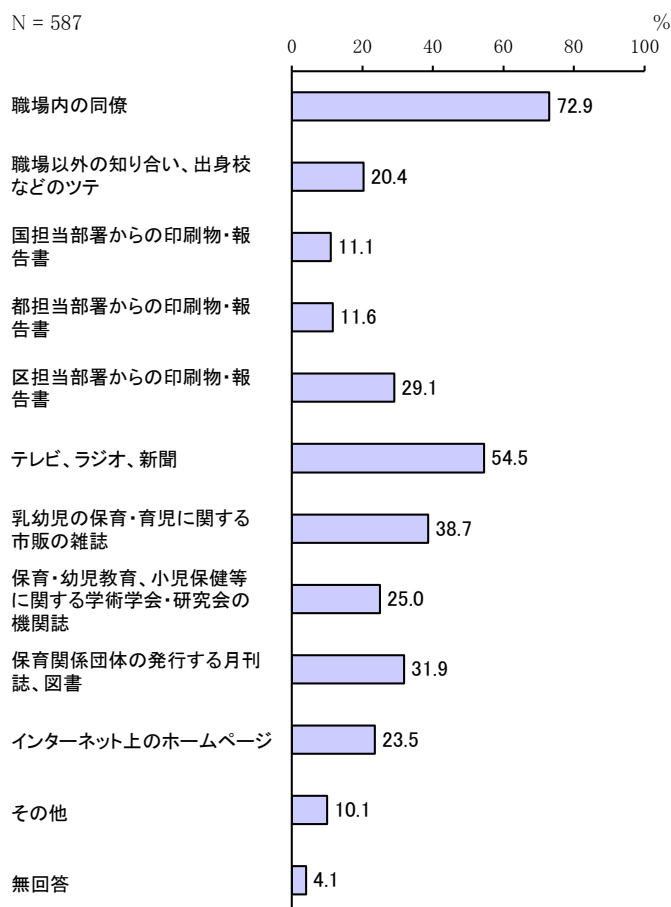
	保護者会	行事	家庭訪問	子育てに関する相談	保育方針等についての保護者との話し合い	緊急時の連絡	その他	無回答
保育士	21.2	8.1	0.4	30.8	3.3	2.2	5.9	13.9
幼稚園教諭	28.8	17.8	0.8	26.3	13.6	5.9	0.8	10.2
児童指導員	31.0	20.7	5.2	31.0	10.3	13.8	17.2	12.1
保健師	4.3	-	69.6	91.3	-	4.3	13.0	8.7
看護師	16.7	-	-	33.3	-	16.7	-	16.7
栄養士	16.7	16.7	-	33.3	-	-	-	16.7
その他	10.3	23.1	-	19.2	6.4	9.0	11.5	28.2

### (3) 子育てに関する情報、相談の状況について

問4 あなたは、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていますか。(〇はいくつでも)

「職場内の同僚」の割合が72.9%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞」の割合が54.5%、「乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌」の割合が38.7%となっています。

N = 587



#### [年齢別 子育て情報の入手方法]

年齢別でみると、すべての年齢で「職場内の同僚」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	職場内の同僚	職場以外の知り合い、出身校などのツテ	国担当部署からの印刷物・報告書	都担当部署からの印刷物・報告書	区担当部署からの印刷物・報告書	テレビ、ラジオ、新聞	乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌	保育・幼児教育、小児保健等に関する学会・研究会の機関誌	保育関係団体の発行する月刊誌、図書	インターネット上のホームページ	その他	無回答
30歳未満	121	78.5	32.2	4.1	3.3	9.1	46.3	48.8	19.8	28.9	29.8	7.4	2.5
30～39歳	116	79.3	24.1	10.3	6.9	23.3	51.7	41.4	19.8	28.4	29.3	12.1	3.4
40～49歳	147	79.6	17.0	12.9	14.3	32.7	57.8	36.1	29.9	31.3	21.8	8.8	4.1
50～59歳	157	63.1	12.1	16.6	19.1	43.9	60.5	35.0	28.0	33.1	19.7	10.8	4.5
60歳以上	37	62.2	18.9	5.4	13.5	40.5	59.5	21.6	24.3	48.6	10.8	16.2	2.7

[施設別 子育て情報の入手方法]

施設別でみると、区立保育園、私立保育園、認証保育所、児童館、子育てのひろば、区立幼稚園、私立幼稚園、保健相談所で「職場内の同僚」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、学童クラブで「区担当部署からの印刷物・報告書」の割合が、7割以上と他の施設に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	職場内の同僚	職場以外の知り合い、出身校などのツテ	国担当部署からの印刷物・報告書	都担当部署からの印刷物・報告書	区担当部署からの印刷物・報告書	テレビ、ラジオ、新聞	乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌	保育・幼児教育、小児保健等に関する学術学会・研究会の機関誌	保育関係団体の発行する月刊誌、図書	インターネット上のホームページ	その他	無回答
区立保育園	244	77.0	13.9	9.8	9.4	27.0	51.6	42.6	31.6	36.9	20.1	9.8	4.5
私立保育園	42	71.4	14.3	11.9	14.3	23.8	61.9	61.9	23.8	33.3	28.6	9.5	4.8
認証保育所	31	80.6	38.7	12.9	12.9	25.8	41.9	38.7	9.7	16.1	32.3	9.7	6.5
保育室	6	66.7	16.7	-	-	33.3	83.3	50.0	-	50.0	16.7	-	16.7
駅型グループ保育室	4	75.0	-	-	25.0	25.0	75.0	75.0	-	-	-	-	-
児童館	24	75.0	16.7	20.8	20.8	54.2	70.8	20.8	8.3	20.8	29.2	8.3	8.3
学童クラブ	29	65.5	31.0	6.9	10.3	72.4	72.4	31.0	10.3	6.9	20.7	3.4	-
子育てのひろば	17	70.6	23.5	23.5	17.6	64.7	70.6	35.3	17.6	52.9	29.4	23.5	-
NPO子育て支援グループ	2	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
児童養護施設	9	88.9	11.1	22.2	33.3	22.2	55.6	22.2	44.4	33.3	44.4	-	-
区立幼稚園	10	60.0	10.0	30.0	30.0	60.0	20.0	50.0	30.0	40.0	10.0	20.0	10.0
私立幼稚園	114	67.5	38.6	1.8	3.5	9.6	51.8	32.5	19.3	36.0	22.8	7.9	1.8
保健相談所	23	78.3	4.3	52.2	52.2	47.8	56.5	34.8	73.9	21.7	47.8	34.8	-
厚生文化会館	8	75.0	25.0	12.5	12.5	50.0	62.5	25.0	-	12.5	37.5	12.5	-
地区区民館	11	54.5	-	-	-	27.3	72.7	-	-	18.2	18.2	9.1	-

[職業別 子育て情報の入手方法]

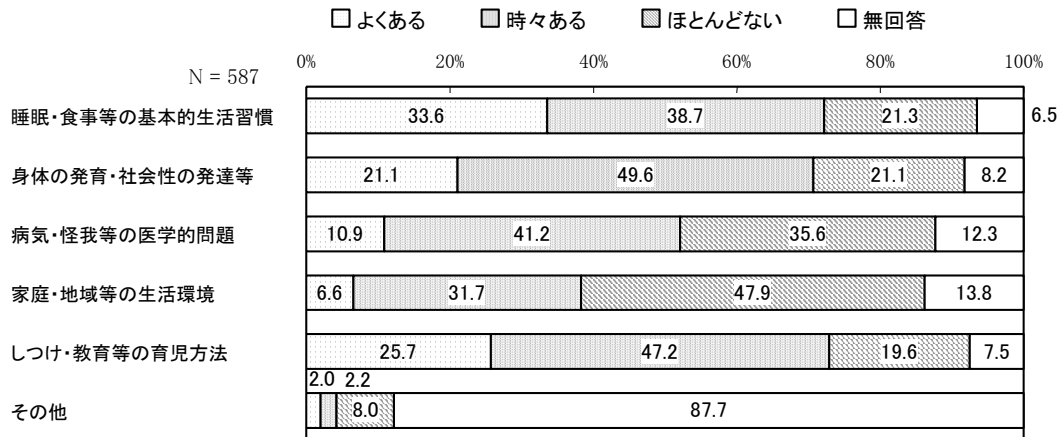
職業別でみると、すべての職業で「職場内の同僚」の割合が最も高くなっています。また、「テレビ、ラジオ、新聞」「乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌」の割合も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	職場内の同僚	職場以外の知り合い、出身校などのツテ	国担当部署からの印刷物・報告書	都担当部署からの印刷物・報告書	区担当部署からの印刷物・報告書	テレビ、ラジオ、新聞	乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌	保育・幼児教育、小児保健等に関する学会・研究会の機関誌	保育関係団体の発行する月刊誌、図書	インターネット上のホームページ	その他	無回答
保育士	273	77.3	16.8	9.5	9.2	24.9	53.8	49.8	30.4	37.0	21.2	9.9	3.3
幼稚園教諭	118	71.2	38.1	3.4	5.9	12.7	49.2	38.1	22.0	36.4	22.0	7.6	3.4
児童指導員	58	75.9	22.4	13.8	19.0	62.1	74.1	24.1	8.6	17.2	29.3	5.2	-
保健師	23	78.3	4.3	52.2	52.2	47.8	56.5	34.8	73.9	21.7	47.8	34.8	-
看護師	12	66.7	16.7	41.7	41.7	58.3	66.7	33.3	58.3	50.0	66.7	-	-
栄養士	6	100.0	16.7	33.3	16.7	50.0	50.0	50.0	33.3	16.7	66.7	-	-
その他	78	64.1	11.5	7.7	9.0	34.6	52.6	12.8	5.1	19.2	17.9	12.8	10.3

問5 あなたは、次のような子育てについての相談の内容にどの程度関わっていますか  
 (なお、ここでいう相談とは、入所の問い合わせなどは含まず、育児・子育てに関する相談とします。)(○はそれぞれ1つ)

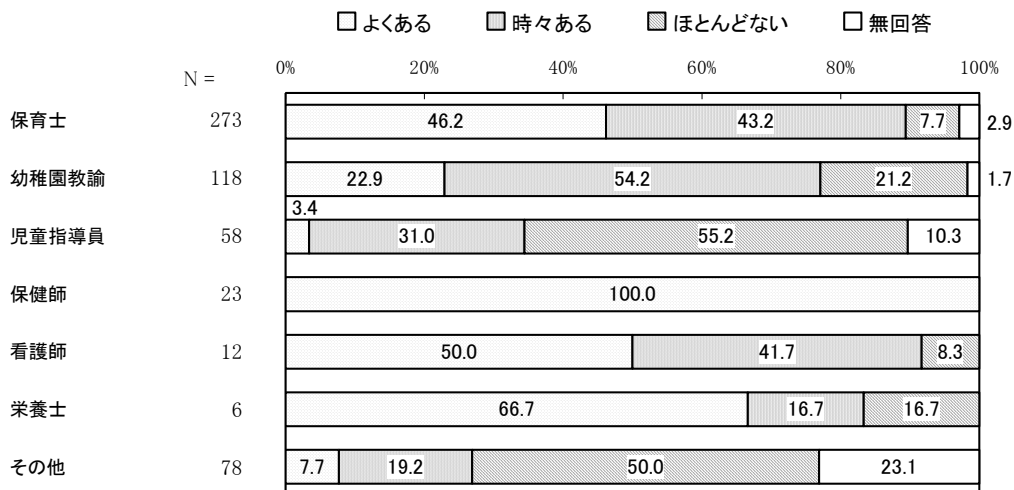
「睡眠・食事等の基本的な生活習慣」「身体の発育・社会性の発達等」「しつけ・教育等の育児方法」で、「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が6割以上と高くなっています。



[職業別 子育ての相談内容の関わり程度]

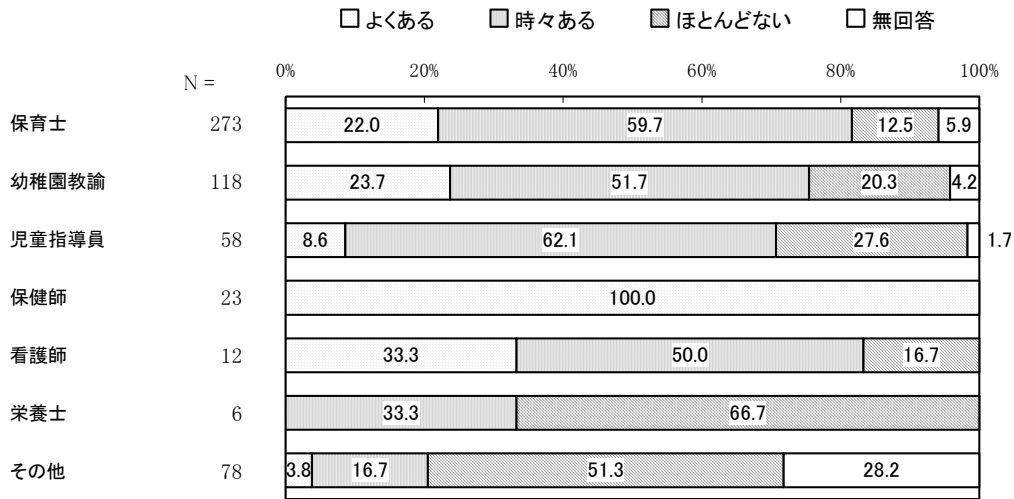
1 睡眠・食事等の基本的な生活習慣

職業別でみると、保育士、保健師、看護師で「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が、8割以上と他の職業に比べて高くなっています。



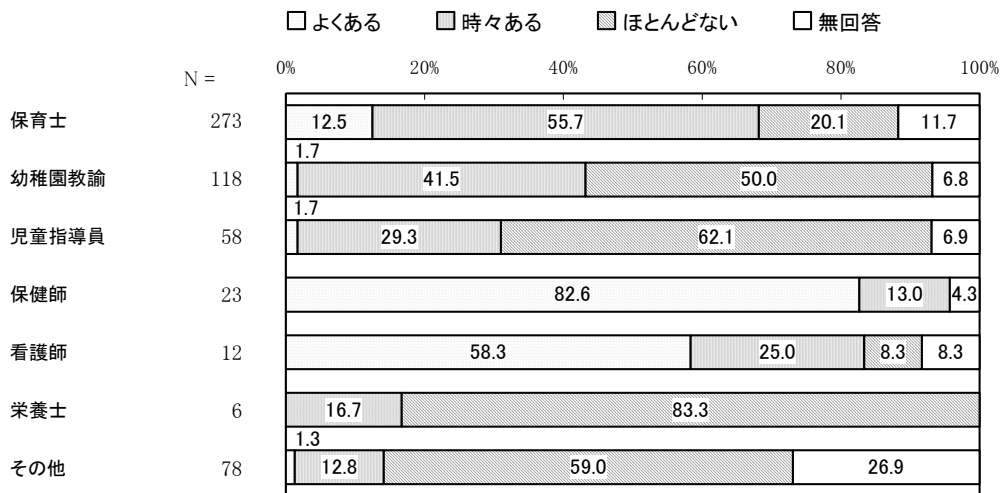
## 2 身体の発育・社会性の発達等

職業別で見ると、保育士、保健師、看護師で「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が、8割以上と他の職業に比べて高くなっています。



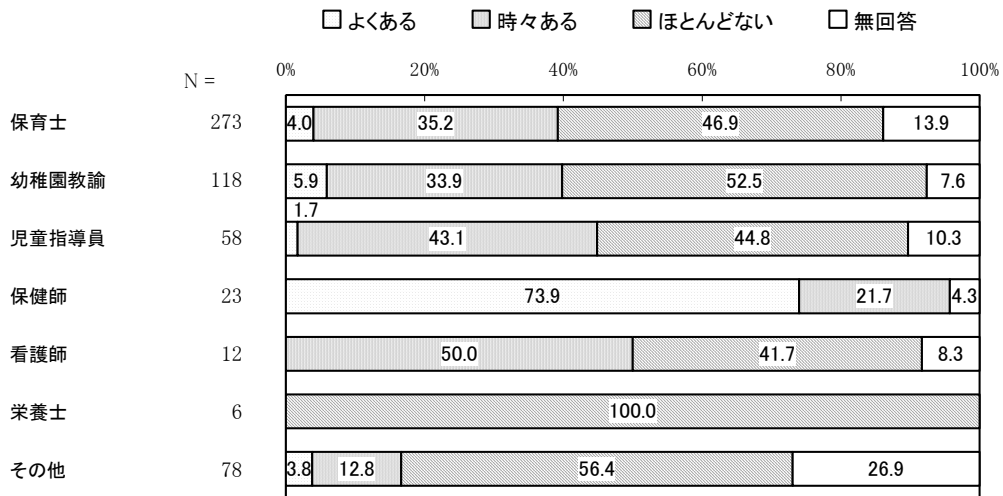
## 3 病気・怪我等の医学的問題

職業別で見ると、保健師、看護師で「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が、8割以上と他の職業に比べて高くなっています。



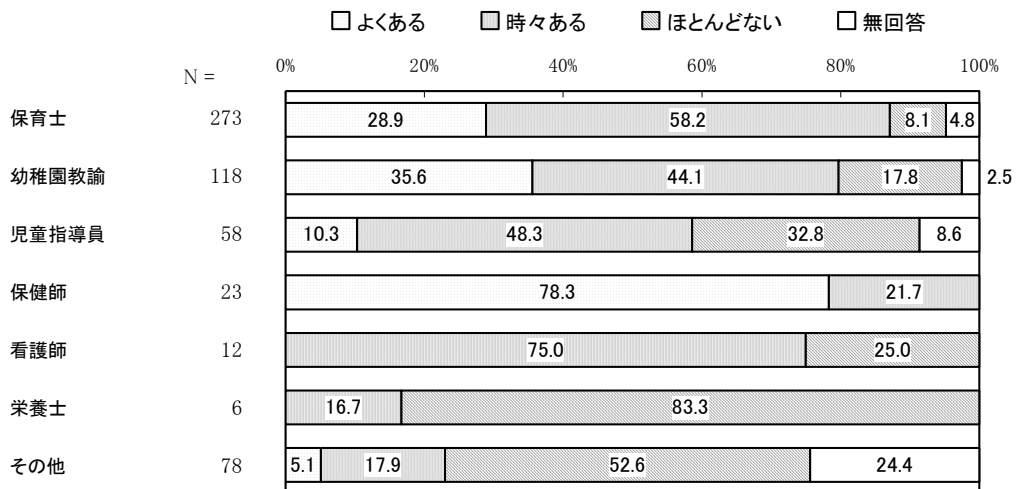
#### 4 家庭・地域の生活環境

職業別でみると、保健師、看護師で「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が、5割以上と他の職業に比べて高くなっています。



#### 5 しつけ・教育等の育児方法

職業別でみると、保育士、保健師で「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が、8割以上と他の職業に比べて高くなっています。

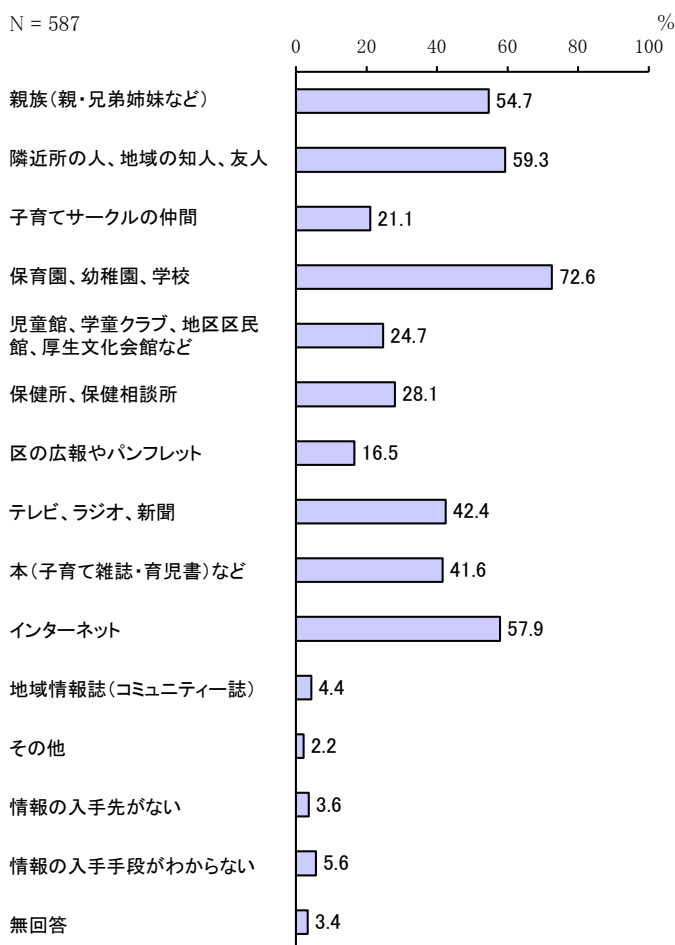




問6 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていると思いますか。(〇はいくつでも)

「保育園、幼稚園、学校」の割合が72.6%と最も高く、次いで「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が59.3%、「インターネット」の割合が57.9%となっています。

N = 587



[職業別 子育て支援情報をどこから入手していると思うか]

職業別で見ると、保育士、幼稚園教諭で「保育園、幼稚園、学校」の割合が高く、保健師で「本（子育て雑誌・育児書）など」「インターネット」の割合が高く、看護師で「親族（親・兄弟姉妹など）」「インターネット」の割合が高くなっています。

単位：%

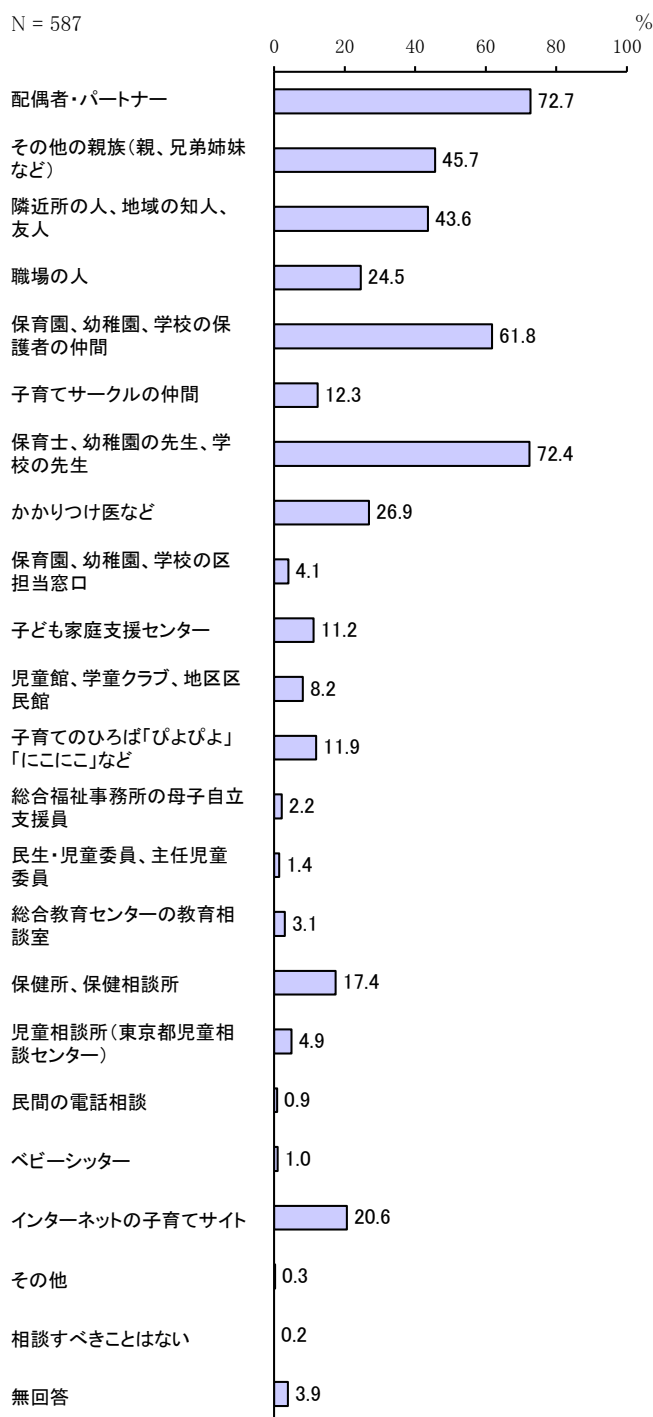
	有効回答数(件)	親族(親・兄弟姉妹など)	隣近所の人、地域の知人、友人	子育てサークルの間	保育園、幼稚園、学校	児童館、学童クラブ、地区区民館、厚生文化会館など	保健所、保健相談所	区の広報やパンフレット	テレビ、ラジオ、新聞
保育士	273	54.6	52.0	13.6	78.0	12.8	29.3	11.7	42.9
幼稚園教諭	118	69.5	78.0	27.1	83.1	36.4	22.9	10.2	44.1
児童指導員	58	43.1	69.0	29.3	63.8	62.1	27.6	25.9	50.0
保健師	23	69.6	78.3	60.9	65.2	43.5	65.2	26.1	60.9
看護師	12	75.0	66.7	33.3	66.7	16.7	25.0	25.0	41.7
栄養士	6	66.7	50.0	-	66.7	-	33.3	-	66.7
その他	78	34.6	44.9	19.2	50.0	17.9	23.1	33.3	32.1

	本(子育て雑誌・育児書)など	インターネット	地域情報誌(コミュニティ誌)	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答
保育士	48.0	66.3	3.3	3.7	3.3	5.5	0.4
幼稚園教諭	32.2	46.6	2.5	-	3.4	1.7	-
児童指導員	31.0	60.3	1.7	1.7	5.2	5.2	-
保健師	82.6	87.0	8.7	-	-	13.0	-
看護師	41.7	75.0	8.3	-	8.3	16.7	-
栄養士	50.0	50.0	-	-	16.7	16.7	-
その他	33.3	38.5	11.5	1.3	3.8	9.0	20.5

問7 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する悩みや不安などをどこに相談されていると思いますか。(〇はいくつでも)

「配偶者・パートナー」の割合が72.7%と最も高く、次いで「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」の割合が72.4%、「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」の割合が61.8%となっています。

N = 587



[年齢別 子育てに関する悩み等をどこに相談していると思うか]

年齢別で見ると、30歳未満、50～59歳で「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」の割合が高く、30～39歳、40～49歳、60歳以上で「配偶者・パートナー」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	配偶者・パートナー	その他の親族(親、兄弟姉妹など)	知人、友人	隣近所の人、地域の	職場の人	保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	子育てサークルの間	保育士、幼稚園の先生、学校の先生	かかりつけ医など	保育園、幼稚園、学校の区担当窓口	子ども家庭支援センター	地区区民館 児童館、学童クラブ、	子育てのひろば「ぴよぴよ」などに「こ」など
30歳未満	121	82.6	57.0	49.6	13.2	64.5	5.8	85.1	23.1	4.1	13.2	5.0	14.0	
30～39歳	116	75.0	47.4	39.7	19.0	66.4	10.3	66.4	19.8	1.7	10.3	6.9	11.2	
40～49歳	147	73.5	42.9	44.2	35.4	60.5	10.9	72.8	29.9	2.0	10.9	6.1	9.5	
50～59歳	157	64.3	40.8	42.0	29.3	63.1	16.6	70.7	31.2	8.3	10.2	12.7	13.4	
60歳以上	37	75.7	40.5	40.5	13.5	43.2	24.3	62.2	37.8	2.7	13.5	13.5	10.8	

	総合福祉事務所の母子自立支援員	民生・児童委員、主任児童委員	総合教育センターの教育相談室	保健所、保健相談所	児童相談所(東京都児童相談センター)	民間の電話相談	ベビーシッター	インターネットの子育てサイト	その他	相談すべきことはない	無回答
30歳未満	1.7	-	1.7	10.7	6.6	-	1.7	9.9	-	-	-
30～39歳	-	0.9	-	20.7	5.2	1.7	1.7	18.1	0.9	-	1.7
40～49歳	2.7	1.4	4.1	17.7	5.4	0.7	-	23.1	-	-	2.0
50～59歳	2.5	2.5	5.1	17.2	3.2	0.6	0.6	28.0	0.6	0.6	6.4
60歳以上	8.1	2.7	5.4	29.7	5.4	2.7	-	18.9	-	-	13.5

[職業別 子育てに関する悩み等をどこに相談していると思うか]

職業別で見ると、保育士で「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」の割合が高く、幼稚園教諭、児童指導員、保健師で「配偶者・パートナー」の割合が高く、看護師で、「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」の割合が高くなっています。

単位：%

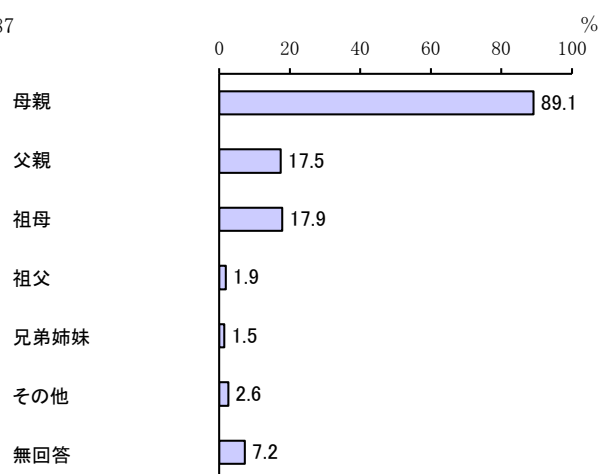
	有効回答数(件)	配偶者・パートナー	その他の親族(親、兄弟姉妹など)	知人、友人	隣近所の人、地域の	職場の人	保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	子育てサークルの仲間	保育士、幼稚園の先生、学校の先生	かかりつけ医など	保育園、幼稚園、学校の区担当窓口	子ども家庭支援センター	児童館、学童クラブ、地区区民館	子育てのひろば「ぴよぴよ」に「こにこ」など
保育士	273	75.1	45.1	38.8	35.9	68.9	7.3	82.1	30.0	5.5	7.7	2.9	8.4	
幼稚園教諭	118	83.9	60.2	55.9	6.8	69.5	10.2	81.4	20.3	0.8	17.8	2.5	11.9	
児童指導員	58	72.4	41.4	44.8	17.2	44.8	13.8	51.7	17.2	1.7	10.3	48.3	10.3	
保健師	23	78.3	65.2	73.9	34.8	43.5	47.8	60.9	52.2	13.0	39.1	17.4	65.2	
看護師	12	58.3	41.7	50.0	25.0	83.3	25.0	58.3	50.0	8.3	-	-	8.3	
栄養士	6	33.3	33.3	33.3	-	50.0	16.7	83.3	50.0	-	16.7	-	33.3	
その他	78	56.4	28.2	29.5	16.7	46.2	19.2	51.3	24.4	3.8	9.0	5.1	9.0	

	総合福祉事務所の母子自立支援員	民生・児童委員、主任児童委員	総合教育センターの教育相談室	保健所、保健相談所	児童相談所(東京都児童相談センター)	民間の電話相談	ベビーシッター	インターネットの子育てサイト	その他	相談すべきことはない	無回答
保育士	1.1	-	2.2	15.8	2.9	0.7	0.4	23.1	0.4	-	0.4
幼稚園教諭	1.7	0.8	4.2	15.3	5.9	-	1.7	13.6	0.8	-	-
児童指導員	5.2	6.9	3.4	12.1	10.3	-	1.7	15.5	-	-	1.7
保健師	8.7	8.7	13.0	69.6	8.7	13.0	-	52.2	-	-	-
看護師	-	-	-	-	8.3	-	-	16.7	-	-	-
栄養士	-	-	-	16.7	16.7	-	-	50.0	-	-	-
その他	3.8	1.3	1.3	16.7	3.8	-	1.3	16.7	-	1.3	21.8

問8 あなたが子育てについての相談を受ける相手は、相談の対象となる子どもからみて、どのような関係の人ですか。(〇はいくつでも)

「母親」の割合が89.1%と最も高く、次いで「祖母」の割合が17.9%、「父親」の割合が17.5%となっています。

N = 587



[性別 相談を受ける相手]

性別でみると、男女ともに「母親」の割合が最も高くなっています。また、女性で「祖母」の割合が、約2割と男性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他	無回答
男性	53	69.8	20.8	7.5	-	5.7	3.8	18.9
女性	522	91.6	17.4	19.2	2.1	1.1	2.3	5.6

[年齢別 相談を受ける相手]

年齢別でみると、すべての年齢で「母親」の割合が最も高くなっていますが、年齢が上がるにつれ、割合が低くなる傾向がみられます。

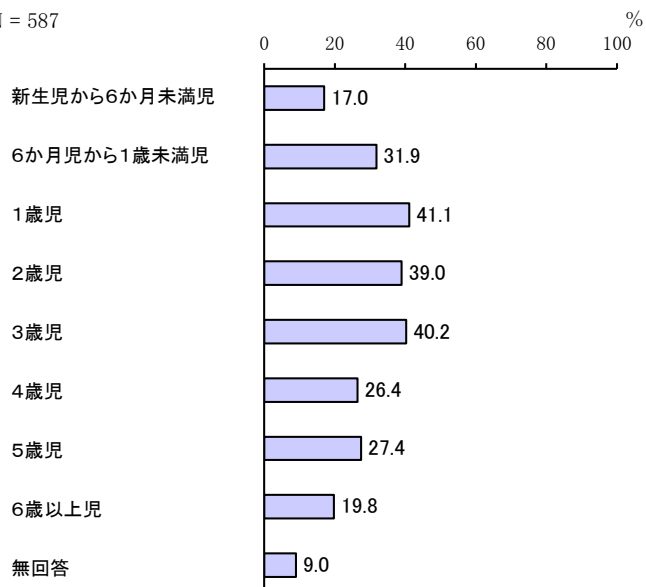
単位：%

	有効回答数(件)	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他	無回答
30歳未満	121	95.0	14.0	10.7	-	0.8	1.7	4.1
30～39歳	116	97.4	18.1	12.1	1.7	-	-	2.6
40～49歳	147	91.8	15.0	16.3	1.4	0.7	0.7	6.8
50～59歳	157	80.3	22.9	28.0	4.5	3.8	7.0	10.2
60歳以上	37	75.7	16.2	27.0	-	2.7	2.7	13.5

問9 子育てについての相談の対象となる子どもの年齢で、多いのはどれですか。(〇はいくつでも)

「1歳児」の割合が41.1%と最も高く、次いで「3歳児」の割合が40.2%、「2歳児」の割合が39.0%となっています。

N = 587



[性別 相談の対象となる子の年齢]

性別でみると、男性で「6歳以上児」の割合が、女性で「1歳児」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	新生児から6か月未満児	6か月児から1歳未満児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳以上児	無回答
男性	53	9.4	13.2	17.0	20.8	20.8	11.3	11.3	47.2	18.9
女性	522	18.2	34.3	44.1	41.2	42.5	27.8	29.3	17.0	7.7

[年齢別 相談の対象となる子の年齢]

年齢別でみると、年齢によってばらつきがありますが、1歳児から3歳児の割合が約4割となっています。

単位：%

	有効回答数(件)	新生児から6か月未満児	6か月児から1歳未満児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳以上児	無回答
30歳未満	121	10.7	22.3	27.3	21.5	48.8	33.1	27.3	11.6	4.1
30～39歳	116	20.7	31.9	45.7	44.8	41.4	29.3	31.0	19.8	5.2
40～49歳	147	19.0	37.4	46.3	46.9	38.8	27.2	29.3	21.8	6.1
50～59歳	157	19.1	36.3	47.8	40.8	35.0	19.1	23.6	23.6	14.0
60歳以上	37	13.5	27.0	27.0	40.5	40.5	24.3	29.7	24.3	21.6

[職業別 相談の対象となる子の年齢]

職業別でみると、職業によってばらつきがあります。

保健師では「新生児から6か月未満児」の割合が、9割以上と他の職業に比べて高くなっています。保健師、看護師で「6か月児から1歳未満児」「1歳児」の割合が、8割以上と他の職業に比べて高くなっています。

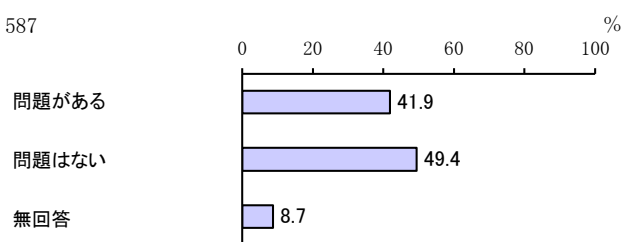
単位：%

	有効回答数(件)	新生児から6か月未満児	6か月児から1歳未満児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳以上児	無回答
保育士	273	19.0	43.2	62.3	57.9	37.7	26.0	30.4	14.7	4.8
幼稚園教諭	118	3.4	4.2	3.4	5.9	67.8	56.8	49.2	11.0	1.7
児童指導員	58	5.2	12.1	20.7	25.9	15.5	3.4	1.7	79.3	-
保健師	23	95.7	91.3	87.0	78.3	78.3	4.3	4.3	-	-
看護師	12	33.3	83.3	83.3	50.0	33.3	25.0	33.3	16.7	8.3
栄養士	6	33.3	100.0	83.3	33.3	16.7	-	-	-	-
その他	78	15.4	20.5	16.7	19.2	23.1	10.3	15.4	14.1	42.3



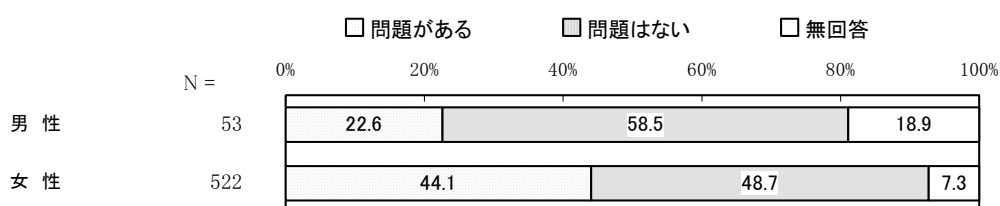
問 10 子育てについての相談を進めていく上で、現在直面している問題がありますか。  
(○は1つ)

「問題はない」の割合が 49.4%、「問題がある」の割合が 41.9%となっています。 N = 587



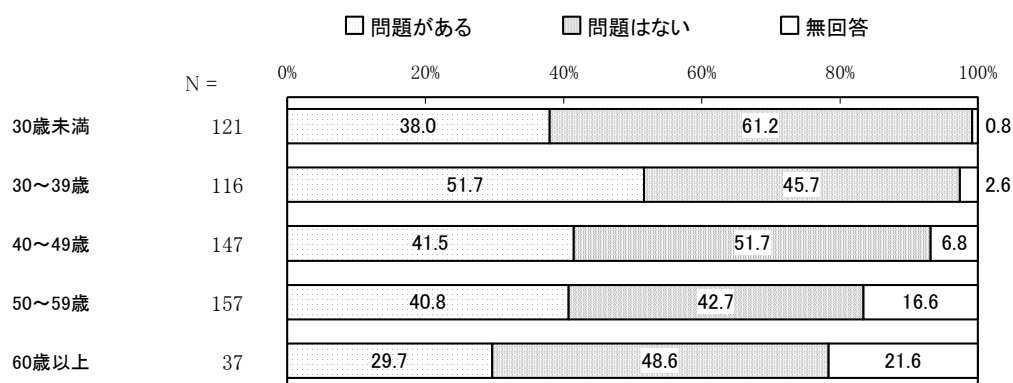
[性別 相談を進めるうえでの問題]

性別で見ると、女性で「問題がある」の割合が、4割以上と男性に比べて高くなっています。



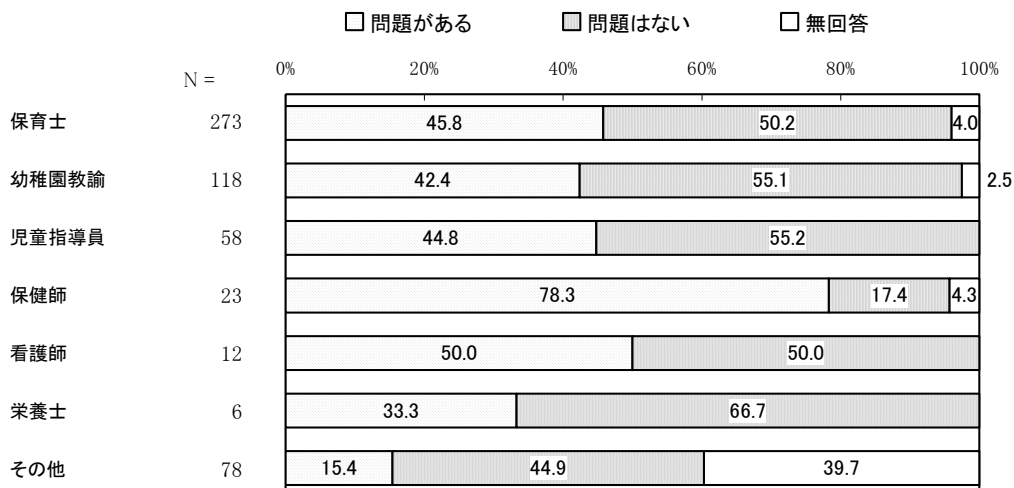
[年齢別 相談を進めるうえでの問題]

年齢別で見ると、30～39歳で「問題がある」の割合が、5割以上と他の年齢に比べて高くなっています。



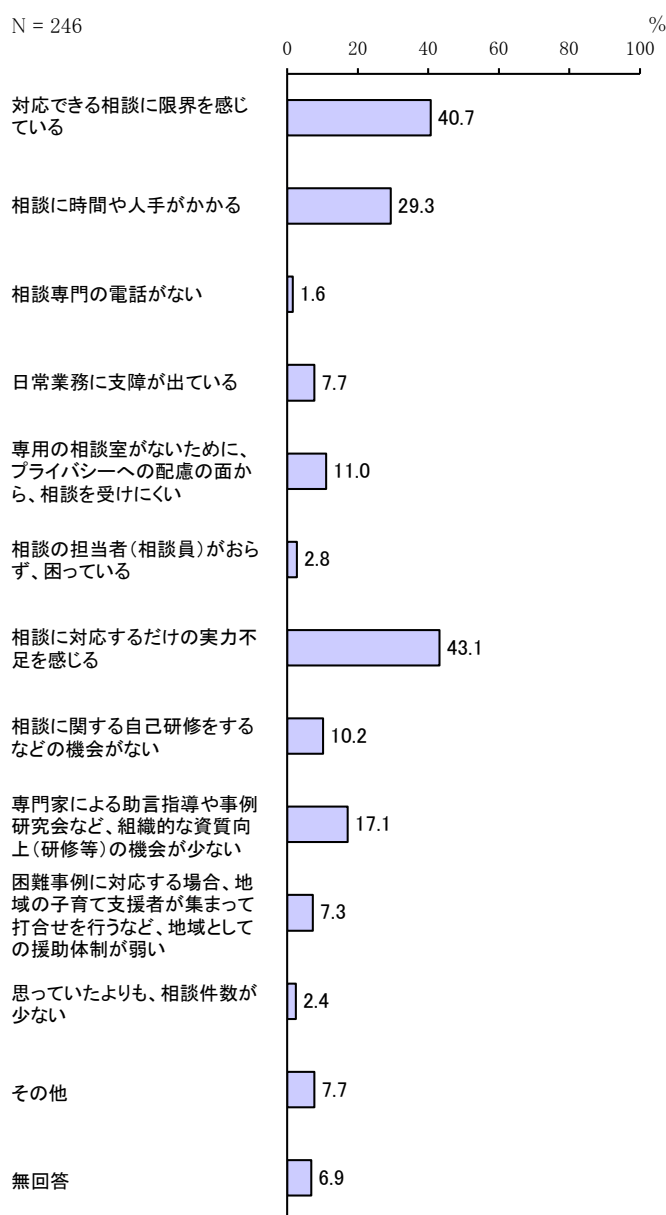
[職業別 相談を進めるうえでの問題]

職業別で見ると、保健師で「問題がある」の割合が、約8割と他の職業に比べて高くなっています。



問 10-1 問 10 で「1. 問題がある」と答えた方へ、それはどのような問題ですか。(〇は主なもの3つ)

「相談に対応するだけの実力不足を感じる」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「対応できる相談に限界を感じている」の割合が 40.7%、「相談に時間や人手がかかる」の割合が 29.3%となっています。



[性別 相談を進めていく上での問題点]

性別でみると、男女ともに「相談に対応するだけの実力不足を感じる」の割合が最も高くなっています。また、男性で「相談に関する自己研修をするなどの機会がない」「専門家による助言指導や事例研究会など、組織的な資質向上（研修等）の機会が少ない」の割合が高くなっており、女性で「対応できる相談に限界を感じている」「相談に時間や人手がかかる」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	対応できる相談に限界を感じている	相談に時間や人手がかかる	相談専門の電話がない	日常業務に支障が出ている	専用の相談室がないために、プライベートへの配慮の面から、相談を受けにくい	相談の担当者(相談員)がおらず、困っている	相談に対応するだけの実力不足を感じる
男性	12	33.3	8.3	8.3	-	8.3	8.3	58.3
女性	230	40.4	30.9	1.3	8.3	11.3	2.6	42.2

	相談に関する自己研修をするなどの機会がない	専門家による助言指導や事例研究会など、組織的な資質向上(研修等)の機会が少ない	困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まって打合せを行うなど、地域としての援助体制が弱い	思っていたよりも、相談件数が少ない	その他	無回答
男性	25.0	25.0	-	8.3	16.7	-
女性	9.1	17.0	7.8	2.2	7.4	7.4

[年齢別 相談を進めていく上での問題点]

年齢別でみると、30歳未満、30～39歳で「相談に対応するだけの実力不足を感じる」の割合が高く、40～49歳、50～59歳、60歳以上で「対応できる相談に限界を感じている」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	対応できる相談に限界を感じている	相談に時間や人がかかる	相談専門の電話がない	日常業務に支障が出ている	専用の相談室がないために、プライバシーへの配慮の面から、相談を受けにくい	相談の担当者(相談員)がおらず、困っている	相談に対応するだけの実力不足を感じる
30歳未満	46	41.3	13.0	-	6.5	2.2	4.3	78.3
30～39歳	60	28.3	25.0	-	3.3	3.3	1.7	53.3
40～49歳	61	44.3	42.6	-	8.2	16.4	3.3	27.9
50～59歳	64	42.2	32.8	6.3	14.1	21.9	3.1	26.6
60歳以上	11	63.6	36.4	-	-	-	-	18.2

	相談に関する自己研修をするなどの機会がない	専門家による助言指導や事例研究会など、組織的な資質向上(研修等)の機会が少ない	困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まって打合せを行うなど、地域としての援助体制が弱い	思っていたよりも、相談件数が少ない	その他	無回答
30歳未満	8.7	10.9	2.2	-	4.3	6.5
30～39歳	6.7	16.7	5.0	-	8.3	11.7
40～49歳	8.2	16.4	13.1	3.3	4.9	8.2
50～59歳	15.6	23.4	9.4	3.1	12.5	3.1
60歳以上	9.1	18.2	-	18.2	9.1	-

[職業別 相談を進めていく上での問題点]

職業別でみると、幼稚園教諭、児童指導員で「相談に対応するだけの実力不足を感じる」の割合が、約7割と他の職業に比べて高くなっています。

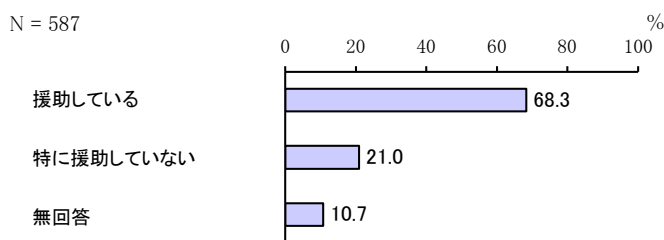
単位：%

	有効回答数(件)	対応できる相談に限界を感じている	相談に時間や人手がかかる	相談専門の電話がない	日常業務に支障が出ている	専用の相談室がないために、プライベートへの配慮の面から、相談を受けにくい	相談の担当者(相談員)がおらず、困っている	相談に対応するだけの実力不足を感じる
保育士	125	40.0	39.2	0.8	11.2	15.2	1.6	28.8
幼稚園教諭	50	32.0	6.0	2.0	4.0	10.0	8.0	72.0
児童指導員	26	38.5	15.4	7.7	7.7	3.8	3.8	69.2
保健師	18	50.0	61.1	-	5.6	-	-	22.2
看護師	6	66.7	16.7	-	-	16.7	-	33.3
栄養士	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0
その他	12	50.0	25.0	-	-	8.3	-	58.3

	相談に関する自己研修をするなどの機会がない	専門家による助言指導や事例研究会など、組織的な資質向上(研修等)の機会が少ない	困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まって打合せを行うなど、地域としての援助体制が弱い	思っていたよりも、相談件数が少ない	その他	無回答
保育士	7.2	16.8	7.2	4.0	5.6	8.8
幼稚園教諭	2.0	18.0	6.0	-	4.0	6.0
児童指導員	23.1	23.1	7.7	-	11.5	3.8
保健師	11.1	5.6	11.1	-	27.8	5.6
看護師	16.7	33.3	-	-	16.7	-
栄養士	50.0	50.0	-	-	50.0	-
その他	16.7	16.7	16.7	8.3	-	-

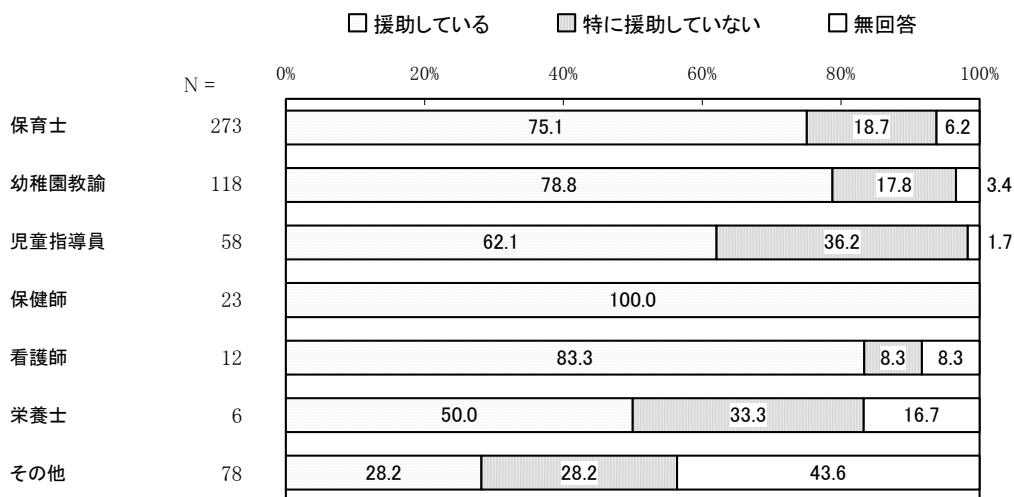
問 11 あなたは、子育てについての相談を受けた場合、その後の援助をしていますか。  
(○は1つ)

「援助している」の割合が 68.3%、「特に援助していない」の割合が 21.0%となっています。



〔職業別 子育て相談を受けたときのその後の支援〕

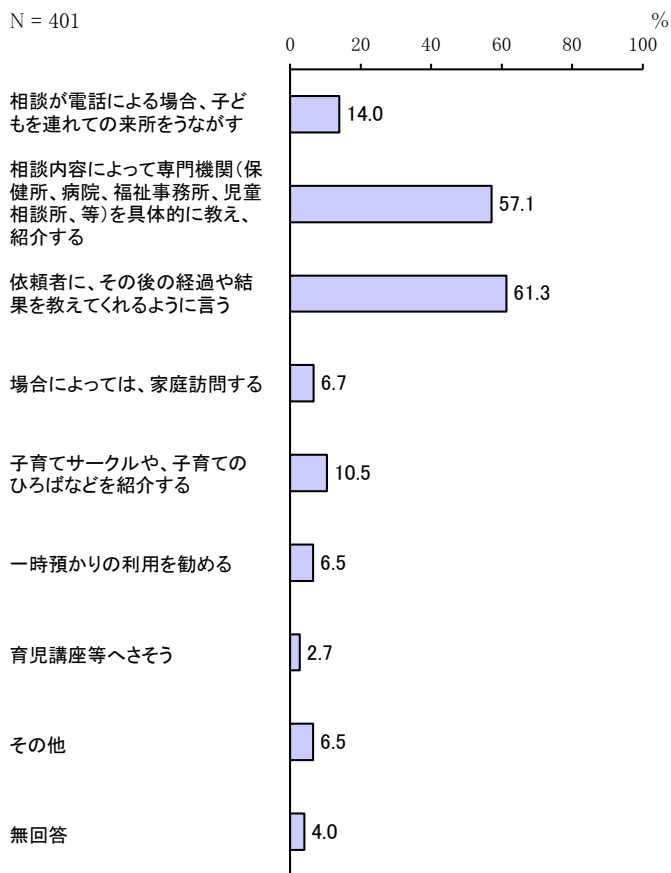
職業別でみると、保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師で「援助している」の割合が、7割以上と他の職業に比べて高くなっています。



問11-1 問11で「1. 援助している」と答えた方へ、それはどのような援助ですか。  
 (〇は主なもの3つ)

「依頼者に、その後の経過や結果を教え  
 てくれるように言う」の割合が61.3%と最  
 も高く、次いで「相談内容によって専門機  
 関（保健所、病院、福祉事務所、児童相談  
 所、等）を具体的に教え、紹介する」の割  
 合が57.1%、「相談が電話による場合、子  
 どもを連れての来所をうながす」の割合が  
 14.0%となっています。

N = 401



[職業別 子育て相談を受けた後の援助内容]

職業別でみると、保育士、幼稚園教諭で「依頼者に、その後の経過や結果を教えてくれるように言う」の割合が高く、児童指導員、看護師で「相談内容によって専門機関（保健所、病院、福祉事務所、児童相談所、等）を具体的に教え、紹介する」の割合が高く、保健師で「場合によっては、家庭訪問する」の割合が高くなっています。

単位：%

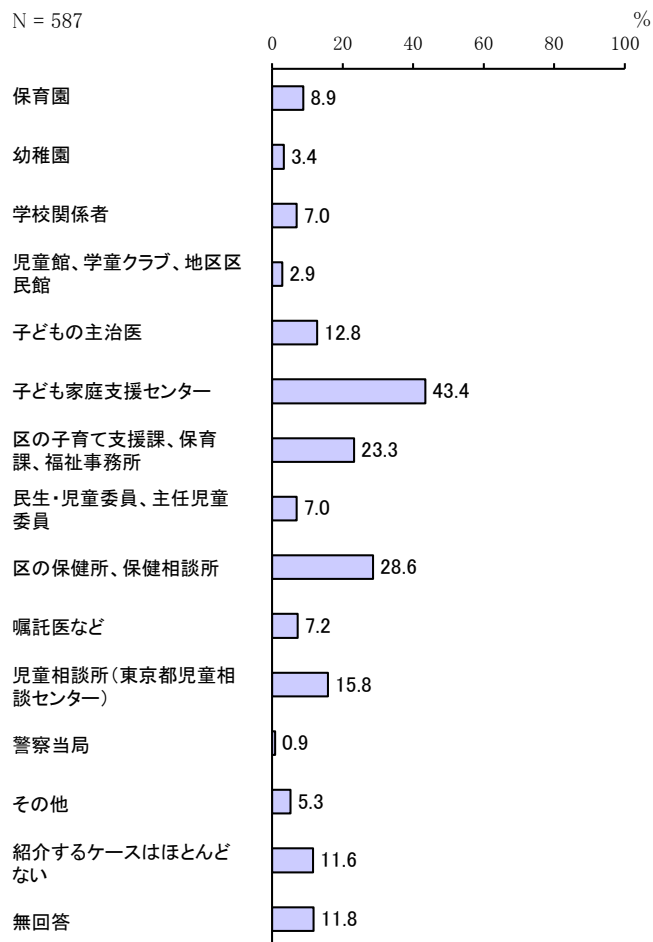
	有効回答数(件)	相談が電話による場合、子どもを連れての来所をうながす	相談内容によって専門機関（保健所、病院、福祉事務所、児童相談所、等）を具体的に教え、紹介する	依頼者に、その後の経過や結果を教えてくれるように言う	場合によっては、家庭訪問する	子育てサークルや、子育てのひろばなどを紹介する	一時預かりの利用を勧める	育児講座等へさそつ	その他	無回答
保育士	205	6.3	56.1	61.5	1.0	8.8	5.4	2.4	8.3	3.9
幼稚園教諭	93	18.3	54.8	74.2	5.4	2.2	6.5	1.1	3.2	1.1
児童指導員	36	8.3	63.9	58.3	11.1	30.6	5.6	-	8.3	-
保健師	23	52.2	60.9	21.7	69.6	21.7	13.0	-	4.3	17.4
看護師	10	20.0	90.0	80.0	-	20.0	-	-	-	-
栄養士	3	33.3	33.3	66.7	-	33.3	-	-	-	-
その他	22	27.3	59.1	40.9	-	13.6	13.6	18.2	9.1	9.1



問 12 子育てについての相談で、あなたの組織だけで対応できない場合は、次のうちの機関を紹介するケースが多いですか。(〇はいくつでも)

「子ども家庭支援センター」の割合が43.4%と最も高く、次いで「区の保健所、保健相談所」の割合が28.6%、「区の子育て支援課、保育課、福祉事務所」の割合が23.3%となっています。

N = 587



[職業別 子育て相談連携先]

職業別でみると、児童指導員、保健師で「子ども家庭支援センター」の割合が、6割以上と他の職業に比べて高くなっています。

単位：%

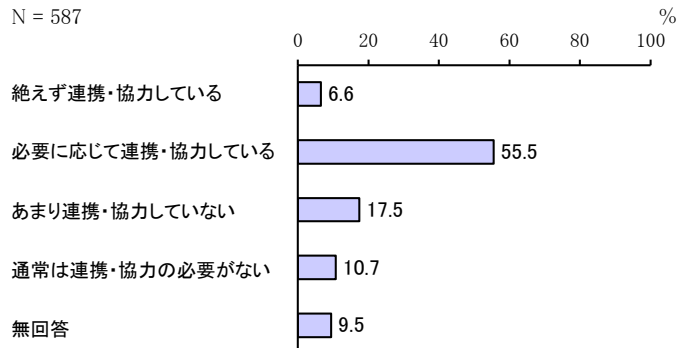
	有効回答数(件)	保育園	幼稚園	学校関係者	児童館、学童クラブ、地区区民館	子どもの主治医	子ども家庭支援センター	区の子育て支援課、保育課、福祉事務所	民生・児童委員、主任児童委員	区の保健所、保健相談所	嘱託医など	児童相談所(東京都児童相談センター)	警察当局	その他	紹介するケースはほとんどない	無回答
保育士	273	7.7	0.4	5.1	1.1	17.6	42.1	26.4	4.4	39.2	10.6	16.8	0.7	4.8	9.2	8.4
幼稚園教諭	118	1.7	12.7	0.8	-	7.6	49.2	10.2	0.8	22.0	0.8	15.3	-	7.6	21.2	11.0
児童指導員	58	6.9	-	24.1	10.3	3.4	63.8	17.2	24.1	10.3	1.7	12.1	1.7	3.4	15.5	3.4
保健師	23	39.1	4.3	13.0	13.0	39.1	78.3	52.2	21.7	8.7	8.7	21.7	4.3	21.7	-	-
看護師	12	25.0	-	8.3	16.7	41.7	25.0	25.0	8.3	41.7	41.7	-	-	-	16.7	-
栄養士	6	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	50.0	-	50.0	-	-	33.3	-
その他	78	11.5	2.6	5.1	2.6	2.6	23.1	29.5	10.3	19.2	5.1	15.4	1.3	1.3	3.8	35.9

#### (4) 子育て支援に関する連携、協力、虐待の状況について

問 13 あなたは子育て支援活動を行うに当たって、他団体との程度、連携・協力を行っていますか。(○は1つ)

「必要に応じて連携・協力している」の割合が55.5%と最も高く、次いで「あまり連携・協力していない」の割合が17.5%、「通常は連携・協力の必要がない」の割合が10.7%となっています。

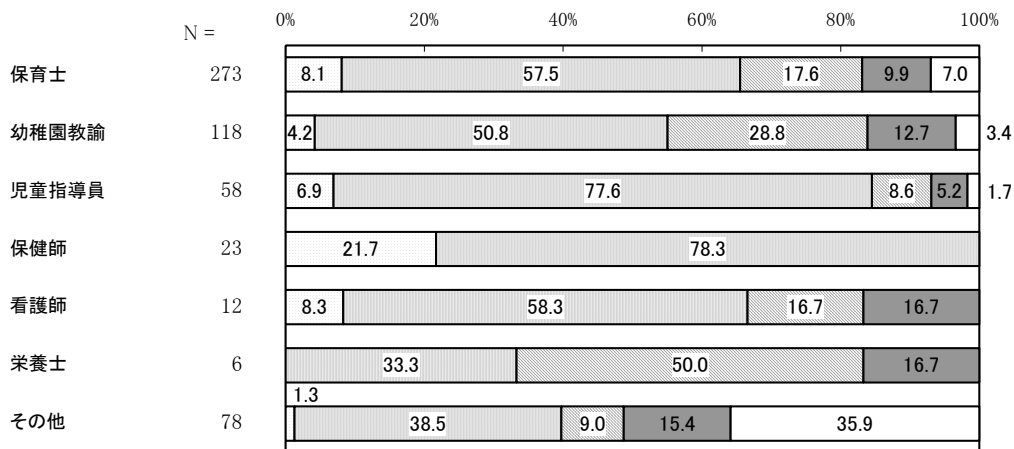
N = 587



#### [職業別 他団体との連携]

職業別でみると、児童指導員、保健師で「必要に応じて連携・協力している」の割合が、約8割と他の職業に比べて高くなっています。

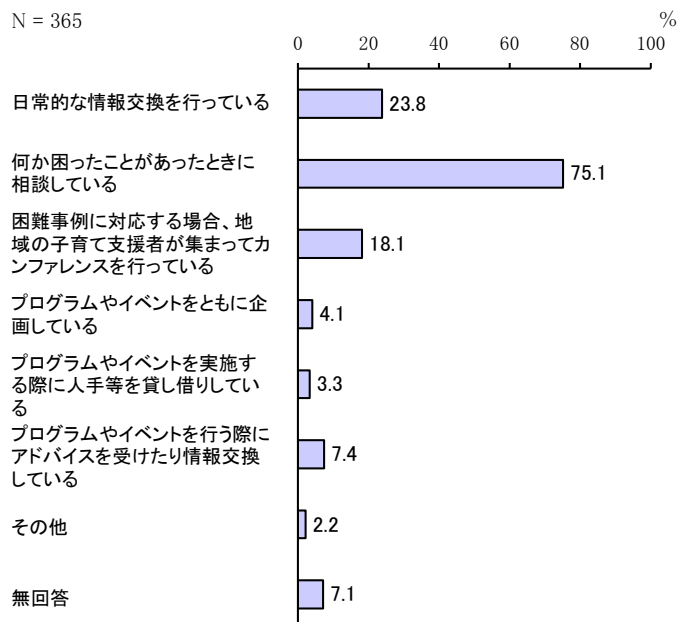
- 絶えず連携・協力している
- 必要に応じて連携・協力している
- あまり連携・協力していない
- 通常は連携・協力の必要がない
- 無回答



問 13-1 問 13 で「1. 絶えず連携・協力している」、「2. 必要に応じて連携・協力している」と答えた方へ、連携・協力の内容として多いものをお知らせください。(〇はいくつでも)

「何か困ったことがあったときに相談している」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「日常的な情報交換を行っている」の割合が 23.8%、「困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まってカンファレンスを行っている」の割合が 18.1%となっています。

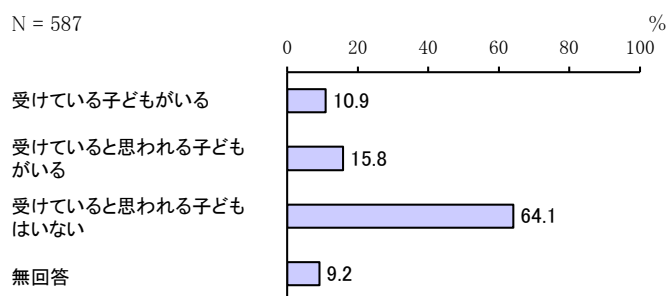
N = 365



問 14 あなたが関わっている子どもの中に、保護者から虐待を受けている子どもがいますか。(〇は1つ)

「受けていると思われる子どもはいない」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「受けていると思われる子どもがいる」の割合が 15.8%、「受けている子どもがいる」の割合が 10.9%となっています。

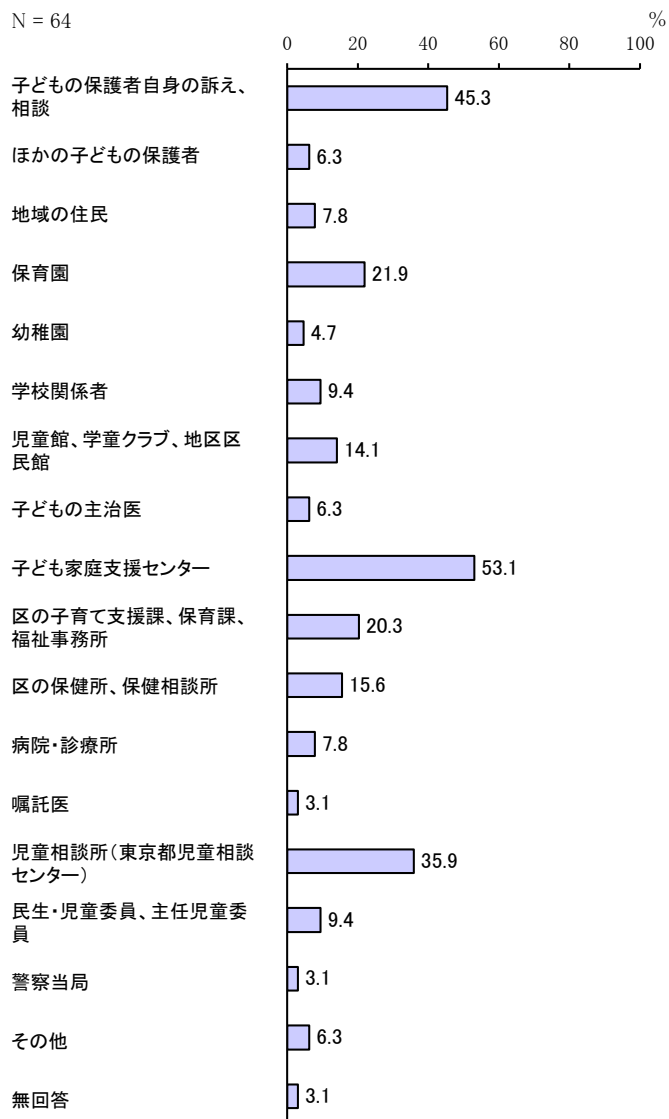
N = 587



問 14-1 問 14 で「1. 受けている子どもがいる」と答えた方へ、虐待の判断は主にどのような情報に基づいてなされましたか。(〇はいくつでも)

「子ども家庭支援センター」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「子どもの保護者自身の訴え、相談」の割合が 45.3%、「児童相談所（東京都児童相談センター）」の割合が 35.9%となっています。

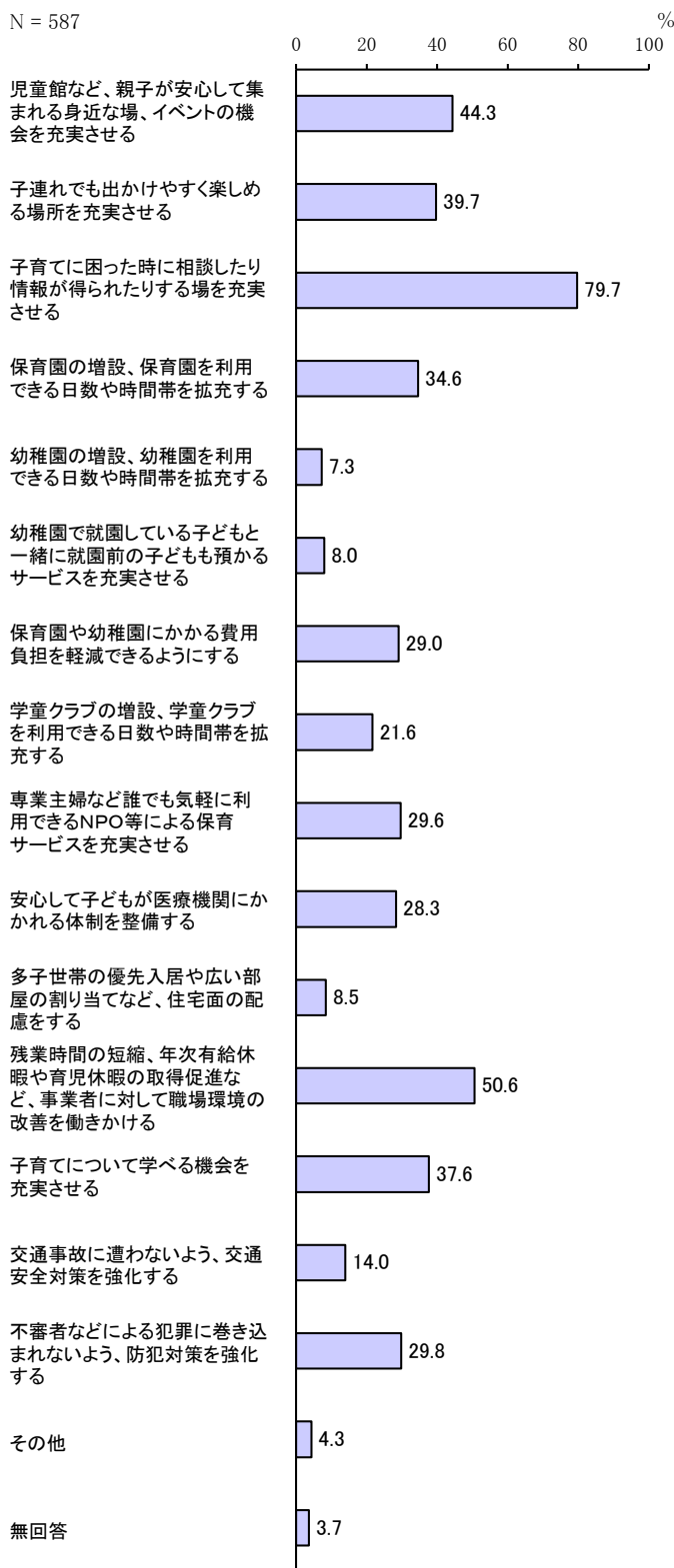
N = 64



問 15 親と子が健やかに育ち合うようにするために、あなたは「子育て支援者」として、行政はどこに力を入れていくといいと思いますか。(〇はいくつでも)

「子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる」の割合が79.7%と最も高く、次いで「残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかける」の割合が50.6%、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実させる」の割合が44.3%となっています。

N = 587



[性別 行政が力を入れるべき点]

性別でみると、男女ともに「子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる」の割合が高くなっています。また、男性で「学童クラブの増設、学童クラブを利用できる日数や時間帯を拡充する」「専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを充実させる」の割合が女性に比べて高く、女性で「残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかける」の割合が男性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる	児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実させる	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を充実させる	子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる	保育園の増設、保育園を利用できる日数や時間帯を拡充する	幼稚園の増設、幼稚園を利用できる日数や時間帯を拡充する	幼稚園で就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かるサービスを充実させる	保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減できるようにする	学童クラブの増設、学童クラブを利用できる日数や時間帯を拡充する	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを充実させる
男性	53	45.3	37.7	67.9	35.8	7.5	7.5	26.4	35.8	43.4	
女性	522	44.3	40.0	81.2	34.5	7.5	8.0	29.7	20.3	28.5	

	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備する	多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮をする	残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかける	子育てについて学べる機会を充実させる	交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化する	不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化する	その他	無回答
男性	30.2	11.3	41.5	32.1	20.8	35.8	3.8	7.5
女性	28.2	8.4	52.3	38.7	12.8	28.9	4.4	2.9

[年齢別 行政が力を入れるべき点]

年齢別で見ると、すべての年齢で「子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる」の割合が最も高くなっています。

また、30歳未満で「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実させる」「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を充実させる」の割合が高く、30～39歳、40～49歳で「残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかける」の割合が、5割以上と他の年齢に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実させる	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を充実させる	子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる	保育園の増設、保育園を利用できる日数や時間帯を拡充する	幼稚園の増設、幼稚園を利用できる日数や時間帯を拡充する	幼稚園で就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かるサービスを充実させる	保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減できるようにする	児童クラブの増設、児童クラブを利用できる日数や時間帯を拡充する	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを充実させる
30歳未満	121	60.3	51.2	88.4	19.8	5.0	9.1	37.2	5.8	24.8
30～39歳	116	40.5	35.3	75.9	33.6	6.9	6.9	26.7	19.0	27.6
40～49歳	147	39.5	38.1	77.6	34.0	6.8	10.2	23.8	29.3	27.9
50～59歳	157	40.1	36.9	81.5	45.9	9.6	5.7	29.3	28.7	37.6
60歳以上	37	45.9	37.8	67.6	43.2	10.8	8.1	32.4	24.3	29.7

	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備する	多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮をする	残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかける	子育てについて学べる機会を充実させる	交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化する	不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化する	その他	無回答
30歳未満	36.4	10.7	47.1	42.1	19.0	28.1	-	0.8
30～39歳	27.6	6.0	54.3	32.8	9.5	23.3	3.4	3.4
40～49歳	21.8	5.4	59.2	34.0	12.9	33.3	6.8	1.4
50～59歳	29.9	12.1	48.4	42.0	13.4	30.6	5.7	5.1
60歳以上	24.3	8.1	35.1	40.5	16.2	40.5	5.4	10.8



[職業別 行政が力を入れるべき点]

職業別でみると、保健師で「保育園の増設、保育園を利用できる日数や時間帯を拡充する」の割合が、9割以上と他の職業に比べて高くなっています。

単位：%

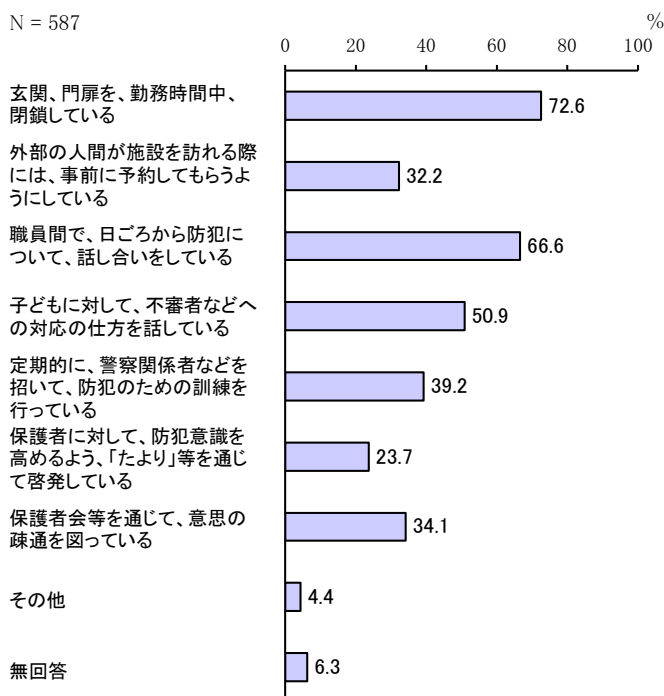
	有効回答数(件)	児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実させる	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を充実させる	子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実させる	保育園の増設、保育園を利用できる日数や時間帯を拡充する	幼稚園の増設、幼稚園を利用できる日数や時間帯を拡充する	幼稚園で就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かるサービスを充実させる	保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減できるようにする	学童クラブの増設、学童クラブを利用できる日数や時間帯を拡充する	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを充実させる
保育士	273	41.0	39.2	77.7	37.0	7.0	4.0	28.9	22.0	28.6
幼稚園教諭	118	56.8	41.5	89.0	12.7	5.9	6.8	35.6	5.9	25.4
児童指導員	58	48.3	41.4	82.8	31.0	1.7	5.2	19.0	39.7	27.6
保健師	23	60.9	47.8	78.3	95.7	26.1	60.9	26.1	34.8	78.3
看護師	12	25.0	41.7	100.0	25.0	-	-	33.3	8.3	50.0
栄養士	6	33.3	66.7	83.3	66.7	-	33.3	50.0	33.3	66.7
その他	78	35.9	34.6	73.1	44.9	12.8	11.5	25.6	29.5	26.9

	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備する	多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮をする	残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかける	子育てについて学べる機会を充実させる	交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化する	不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化する	その他	無回答
保育士	28.9	8.4	65.6	42.1	13.2	31.9	5.1	2.6
幼稚園教諭	26.3	7.6	35.6	37.3	15.3	27.1	1.7	0.8
児童指導員	15.5	10.3	44.8	32.8	12.1	20.7	1.7	1.7
保健師	21.7	13.0	43.5	17.4	4.3	21.7	8.7	-
看護師	41.7	8.3	66.7	41.7	16.7	50.0	8.3	-
栄養士	66.7	16.7	50.0	50.0	16.7	50.0	-	-
その他	34.6	9.0	30.8	38.5	17.9	32.1	5.1	11.5

問 16 あなたは、あなたの職場で子どもを預かる際に、その身体の安全を確保し、危険な目に遭わないよう、どのようなことを心がけたり実行したりしていますか。(〇はいくつでも)

「玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している」の割合が72.6%と最も高く、次いで「職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている」の割合が66.6%、「子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している」の割合が50.9%となっています。

N = 587



[性別 子どもを危険から守るための行動]

性別で見ると、男性で「職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている」の割合が、女性で「玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している	外部の人間が施設を訪れる際には、事前に予約してもらうようになっている	職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている	子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している	定期的に、警察関係者などを招いて、防犯のための訓練を行っている	保護者に対して、防犯意識を高めるよう、「たより」等を通じて啓発している	保護者会等を通じて、意思の疎通を図っている	その他	無回答
男性	53	37.7	15.1	52.8	35.8	9.4	7.5	26.4	9.4	13.2
女性	522	76.4	34.1	68.2	52.7	42.5	25.1	34.9	4.0	5.0

[年齢別 子を危険から守るための行動]

年齢別でみると、60歳以上を除き「玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している」の割合が7割以上と高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している	外部の人間が施設を訪れる際には、事前に予約してもらおうようにしている	職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている	子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している	定期的に、警察関係者などを招いて、防犯のための訓練を行っている	保護者に対して、「たより」等を通じて啓発している	保護者会等を通じて、意思の疎通を図っている	その他	無回答
30歳未満	121	78.5	27.3	61.2	51.2	29.8	24.8	31.4	1.7	2.5
30～39歳	116	71.6	25.9	63.8	52.6	41.4	20.7	27.6	5.2	6.9
40～49歳	147	73.5	36.7	68.0	47.6	42.2	18.4	32.7	6.1	3.4
50～59歳	157	71.3	35.0	72.6	55.4	46.5	29.3	40.8	3.2	7.6
60歳以上	37	64.9	43.2	64.9	43.2	27.0	27.0	43.2	10.8	13.5

[職業別 子を危険から守るための行動]

職業別でみると、保育士、幼稚園教諭、看護師で「玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している」の割合が、児童指導員で「子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している	外部の人間が施設を訪れる際には、事前に予約してもらおうようにしている	職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている	子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している	定期的に、警察関係者などを招いて、防犯のための訓練を行っている	保護者に対して、「たより」等を通じて啓発している	保護者会等を通じて、意思の疎通を図っている	その他	無回答
保育士	273	86.1	48.7	81.3	62.3	56.4	26.0	43.6	1.1	1.8
幼稚園教諭	118	84.7	13.6	59.3	56.8	32.2	28.8	27.1	-	1.7
児童指導員	58	19.0	8.6	50.0	51.7	3.4	24.1	37.9	12.1	3.4
保健師	23	-	-	13.0	-	-	-	4.3	56.5	34.8
看護師	12	100.0	50.0	83.3	58.3	83.3	50.0	58.3	-	-
栄養士	6	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	-	-
その他	78	66.7	28.2	57.7	21.8	24.4	12.8	17.9	3.8	16.7

問 17 最後に、これからの保育施策や子育て支援施策等に関して、日常の子育て支援業務を行う中で、下記のような項目について地域で取り組んでいきたいとお考えになっていることがございましたら、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

## (1) 情報の提供、相談に関して

### ○情報に関して (46 件)

- ・ 駅利用も多いと思うので自由に手にするようパンフレット等充実させる。練馬区のホームページの充実。
- ・ 保育園では年齢に応じて情報提供をしているが、利用者層が様々なので受け止め方が難しいと思う。
- ・ 民間で活動している各団体の情報誌などを目に付く場所に置いておくといいと思います。
- ・ 認可保育園、認証保育所、認可外保育園と様々な形態の保育園があるが、枠を超えて互いが情報を交換できる交流の場があるといいと思います。
- ・ 保護者同士で情報交換やささいな相談のしあえるような場の提供。
- ・ 情報が散在していることがあるので、どこが中心になってとりまとめるのかを明確にしておく。
- ・ 在園する子どもに関することや保護者に対してだけでなく地域の子どもをともに育てる意識を高め、情報提供、相談に対応する。
- ・ 情報誌に身近に起きている事例をのせ、対処法をわかりやすく書き、提供してあげるとよいと思います。

### ○相談に関して (36 件)

- ・ 気軽に行ける相談施設、相談日があるといいと思う。
- ・ 悩んでいる人のみ相談するところではなく、気軽に相談できるような場所があると良いのではないかな。
- ・ 保育園は入園している家庭だけの子育て相談を受けるのではなく、地域の子育てのお母さんを応援しているということをアピールするべき。
- ・ 相談をするとき、どこに相談していいのかわからないときがある。とりあえずどんなことでも相談できる窓口があると良い。
- ・ 児童館や園庭開放のときに親子で過ごす姿を見ながら子どもへの接し方、遊び方を伝えながら相談しやすい雰囲気をつくり、日常会話の延長のように相談を受けたり子育て支援ができれば良いと思う。
- ・ 相談を受けた自身がどこの機関等を利用、あるいは連携したらよいか。そういった機関が相談内容によっていくつも連想されるようにアンテナを広げていきたい。
- ・ 話しやすい環境づくり、何気なく話をしながら相手の悩みなどの話を引き出せるようにするべき。スタッフのソーシャルワーカー的機能が効果的にできるようにするためスタッフ研修をする。
- ・ 相談の窓口をもっと増やしたり、相談窓口の敷居をもっと低くして気軽に相談できるような窓口があればよいと思います。
- ・ 相談を受けた時の対応の仕方や、答え方等研修できる場が増えるとよいと思います。

## ○その他（4件）

### （2）他機関との連携・協力に関して（101件）

- ・学校と保育園がもっともっと密に話し合ったりできたら良いと思うが、学校側も保育園側もとても忙しく難しい。この辺がもっとスムーズに行えたら良いと思う。
- ・保護者は発達に対してとても不安を持っている。保育園より、より専門の機関へもっとつながられるように、より関係、情報の交換の場を作ってほしいと思う。
- ・小学校と保育園の連携ができるシステム作りをしてほしい。「保育士と教師の懇談会」や「園児が小学校の体験をする」等。校長や園長の考え方にとらわれず、練馬区で一律の取り組みができるようにしてほしい。
- ・必要に応じて気軽に連携協力ができる体制になってほしいと思う。
- ・子どもの育ちを支援しあう連携を他機関ともタイアップしていきたい。
- ・保健師、医療、保育関係者の横のつながりのシステムを作る。保育現場で相談をしたい事例があったときすぐに連携がとれるようなシステム。
- ・近くにある子育て支援施設や団体でも顔を合わせてお互いの活動内容や状況を知らせあう機会が少ないです。行政の枠をこえて「連絡会」のような場で、情報交換できるとよいと思います。
- ・他機関との連携、協力などが日常的に行えるよう、研修や情報交換などができる機会があるとうれしく思う。
- ・あまり他機関との連携がないので、地域で様々な機関が集まり情報交換できるような場を定期的に設けられれば良いと思う。

### （3）区民にもっと活用して欲しいサービス内容やそのための方法に関して

#### ○利用して欲しいサービス（26件）

- ・クラスの仲間、地域の仲間が集まりあえる場の提供。家の行き来には限界があったりする。集まることで自他の子の姿が見えたり、見直す機会、分かり合える相談しあえる機会につながると思う。
- ・保育園で行っている地域交流やふれあい給食などにもっと来てほしい。地域で子育て関連施設が多いので、なかなかアピールしても集まらない現状がある。
- ・子育て世代の方々はいろいろな不安を抱えたり悩んだりしていることも多いように思われます。そのような方々が気兼ねなく安心して利用できる場をつくることができるとより良いのではないかと思います。例えば空き住宅や空き部屋を利用する等々。
- ・子育て相談だけでなく子育て支援の観点から保育園、保育士が地域へ貢献できることはたくさんあると思う。公立保育園の力をもっと活用すべき。そのシステムを作っていきたい。
- ・近くの公園で青空保育という名で、紙芝居や手あそびなどの発表をしている。より多くの方に参加してもらいたい。
- ・保育園職員の専門性を生かした取り組み（講習会、手遊び、ふれあい遊びなど）に多くの方に参加してほしい。

- ・子どもとの接し方、遊び方等で悩んでおられる保護者がいるが、児童館や区民館の利用なども積極的に勧めていきたい。延長保育などもたまに利用していただき縦割り保育（異年齢児との交流）も経験してほしい。
- ・子育てひろば、一時預かり。保護者が子育てについて学べる場所や機会を増やしてほしい。
- ・乳幼児健診の際、体重の増えについて心配が多い（特に0歳児）。また周りに相談できる人がいないというお母さんも多いため、近くのびよびよや児童館などの施設を活用してほしいと思い、周知している。

#### ○サービスを利用してもらうための方法（25件）

- ・各施設の利用をしやすくしていく。催し物、イベント等への参加を促す。パンフレットやチラシでの情報提供は“行きたくなるレイアウト”をする。
- ・区報などを見ても面白そうな講座等は平日の昼間がほとんどである。働いている女性には参加する機会もない。これだけ女性の就労数が多いのであれば、もっと開催日時を土日祝で増やしていくべき。
- ・お父さんたちが参加しやすい内容や曜日を考えていく。
- ・体調の悪い子も預かってもらえる場所があることをもっと広く伝え、活用してもらえるようにする。
- ・子育て中の保護者がお互いに助けあえる仲間作りをすすめているが、知らない人もいるのでPRを工夫する。
- ・区での子育てサービスについて知らない親御さんも多いので、サービス内容をわかりやすく知らせる場があるとよい。
- ・親子で参加できるサークルやコミュニティーのサービスがあるというおしらせを区民により伝わりやすくしたいと思います。
- ・発達の遅れのある子どもさんが多くなっていますので専門の施設を作り、専門の先生が指導するシステムがあってもよいかと思っています。

#### ○その他（8件）

### （4）サービスの質の向上に関して

#### ○研修（13件）

- ・職員自身が自らを磨く場をもつことが大切と実感している。体制上厳しい面はあるが、研修の充実や他自治体への交流など刺激、情報などを受ける場を望んでいます。
- ・大人の環境により子どもたちの環境も快く過ごしやすなものになっていく（親子関係では特に）。保育士、教育者の広い知識・体験がものを言う。民間の会社の実習に行くとか学習の場を同じ畑でないところで行ってみる。
- ・現場のスタッフが常に最新の情報が得られるよう研修等を充実させる。
- ・保育士の質の向上を図るために研修会などに参加できる機会を増やしたり、保育士の待遇改善が必要だと思う。

### ○人員増員（7件）

- ・保育園にまわってくる役割など増えているのに、職員数は増えていない。人あってこそ向上するサービスもあると思う。
- ・一番大事な乳児期や気になる子が増えてきているように感じる。人員増が必要である。

### ○行政サービス（9件）

- ・保育料を統一し平等にする。土日祝日、24時間保育も公立でやって良いと思う。園で病後児保育、病児保育も行えば子どもも安心できるのでは。
- ・子育て相談だけでなく子育て支援の観点から保育園、保育士が地域へ貢献できることはたくさんあると思う。公立保育園の力をもっと活用すべき。そのシステムを作っていきたい。
- ・区の機関と連携して取り組めるようなシステムが強まれば、相互に質の向上が見られるのではないか。

### ○職員の意識・スキルの向上（5件）

- ・保育園の子どもや保護者だけでなく、広く地域に親しまれ子育て支援の場となれるよう職員の意識向上を目指したい。
- ・私たち職員一人ひとりが専門性を高め、親の悩みに寄り添い、的確なアドバイスができるよう積極的に勉強会に参加すべきと考える。
- ・現在の親世代は多様な価値観と権利意識を持っているため、相談を受ける側の対人スキル能力が求められている。子育てに関する情報や、パターン化した対応では難しいことが多いため支援者としてのスキルアップが重要だと思う。

### ○その他（43件）

## （5）苦情解決、利用者保護の仕組みに関して

### ○苦情解決、利用者保護の仕組み（26件）

- ・近隣の幼保小で苦情の実態調査や情報提供など連携の持てる仕組みが必要と感じる。
- ・多分小さいと思われる苦情を抱えている人が多いと思う。他で解消できる方法があれば苦情を持つ人も減ると思う。楽しい場がある中で気軽に話せる場があると良いと思う。
- ・どのような苦情があるのか、またそれに対してどのように解決しているかの情報交換できると良いと思う。
- ・苦情解決を学べる場がほしい。

### ○苦情解決、利用者保護についての考え方（11件）

- ・区民から苦情を素直に受け止め区民に立ったサービスを行っていききたい。「目配り」「気配り」が大切だと思う。
- ・苦情はひとつひとつ丁寧を受け、共感することを忘れずに対応していくことが大事。職員がスキルアップするために苦情に関する勉強会を開催してほしい。理不尽な苦情によって心が折れたり自信を失くす職員も増えてきていると感じる。

- ・赤ちゃんは泣くものであることに理解のない人、顔もわからないので泣き声だけで不安になる人、都会であるが故の子育ての困難があると思います。子どもが地域で育つことの理解が深まるようなまちづくりが出来ればと思います。

#### ○その他（４件）

#### （６）その他（３７件）

- ・親の仕事、生活のやりくりが皆さんとても大変で気持ちにゆとりを持ってないというのを感じる。これは社会全体の問題でもあると思う。子育て中の親への仕事の軽減が必要。
- ・子どもが明るく元気に育つ環境と、安心して子育てができる社会であってほしいと思います。支援する一員としてこれからも少しでも協力できたらと思っています。